



WE LOVE THE EARTH

安全・人間優先の
まちへ
転換



第39回

公害環境デー

大阪から公害をなくし、地球環境を守り、環境の保全・再生をめざす第39回府民集会

交流会

次の世代に
公害環境問題をどう伝えるか

1月29日(土) 10:00～12:00

エルおおさか南館10F 101号室

いそごう 公害被害者の救済

とめよう 地球の温暖化

まもろう 生物の多様性



2011年

1月29日(土)

参加費無料

13:30～(開場13:00)

エルおおさか 南館5階 ホール

大阪府立労働センター

●事務局連絡先 大阪から公害をなくす会

TEL (06) 6949-8120 FAX (06) 6949-8121 E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp

第39回公害・環境デーのプログラム

(1) 午前の交流会「次の世代に公害・環境問題をどう伝えるか」

(午前10時～12時。南館10階・南101号室)

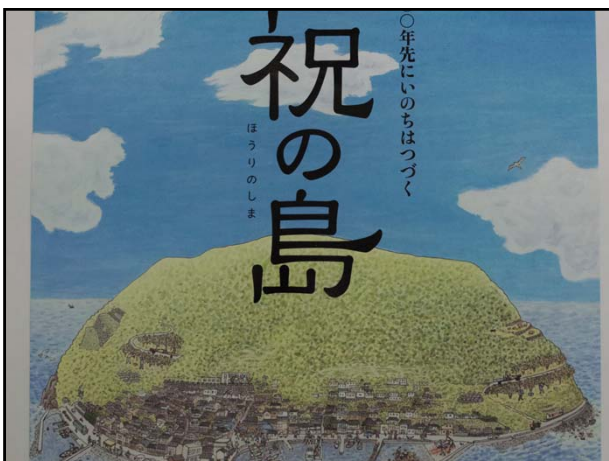
- ①主催者のあいさつ……………宮武正次副実行委員長
- ②実践報告
 - 1. 公害地域の今を伝えるスタディーツアー……………あおぞら財団・真鍋麻衣子 P37
 - 2. 環境教育教材による高校における川の水質調査…港高校・平井俊男 P42
 - 3. 池田高校の化学部合宿による里山調査活動……………池田高校・澤田史郎
代理(北野高校・明仁憲一) P44
 - 4. 大学での地球環境講座を担当して……………阪南大学・中村 寿子 P46
 - 5. 地域との連携による環境まちづくり教育……………大阪経済大学・柏原 誠 P52
- ③若者への公害・環境問題についてのアンケートから…大阪労連青年部・中津川恵子 P60
- ④質疑やディスカッション
- ⑤終了12時

(2) 午後の全体会(午後1時30分～4時30分。南館5階ホール)

- ①主催者あいさつ……………金谷邦夫実行委員長 P 1
- ②基調報告の提案……………基調報告起草委員会・中村毅 P 3
- ③3つの被害者救済運動の報告と訴え
 - ・泉南アスベスト国賠訴訟……………アスベスト国賠訴訟を勝たせる会
 - ・寝屋川「廃プラ」訴訟
……………寝屋川・廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会
 - ・未認定公害患者への医療費助成制度づくり……………喘息被害者の救済を求める会
- ④重点報告
 - ・猛暑のち寒気団—地球環境を考える……………日本科学者会議・岩本智之 P11
 - ・大阪府・自治体の「温暖化対策」ヒアリングで見えてきたもの
……………大阪から公害をなくす会・温暖化委員会・重見浩和 P17
- ⑤休憩(10分)
- ⑥各分野・地域の取り組みの報告
 - ・大阪市内初の市民共同発電所「ECOまち・さわやか発電所」
……………ECOまちネット・よどがわ事務局長 柏原 誠 P21
 - ・子供と一緒に地域の環境調査……………あおぞら財団・小平智子 P23
 - ・ソラダス測定運動の今日的な意義と2012年の取り組み
……………ソラダス実行委事務局・久志本俊弘 P27
 - ・大都市災害の危険と防災対策……………国土研・前川謙二 P30
 - ・信太山丘陵に里山自然公園を……………信太の森FANクラブ・花田茂義 P35
- ⑦質疑・討論
- ⑧集会アピールの採択……………保険医協会・麻田真知子 P63
- ⑨閉会のあいさつ……………宮武正次副実行委員長

昨年9月中旬の実行委員会で準備開始
最初に話題になったこと
このままで公害デーはいいのか？
反公害・環境守る運動をどう次の世代
に伝えるか？
そして 大阪の公害・環境問題の現状を知ろう！
被害者はお互いに協力し合っていく状況を作っていく！

そして、「公害・環境問題について大いに語り、
周りの人に訴え、共同の輪を広げ、私たちの力
で情勢を明るい方向に変えていきましょう」





世界で一個体しか確認されてない
ナガシマツボ(貝)



祝島自然エネルギー100%プロジェクト

「上関原発を建てさせない祝島島民の会」と
NGO「環境エネルギー政策研究所」で
「祝島千年の島づくり基金」発足

1000kwを産み出す！
太陽電池 し尿でのバイオマス発電
小型風力発電 太陽温熱器
10年で「自給率100%状態」をめざす

第39回から第40回に向けての課題

若者の環境への取り組みが全体で報告され、共有できるようになること

公害克服・環境の改善に向けて、すべての参加者が、本日の集会を出発点に、まず身近なところから、行動を開始する

第39回公害環境デー基調報告

第39回公害・環境デー実行委員会

<はじめに>

第39回公害環境デーは、被害者の救済、地球温暖化の防止、国と地方の政治を国民・住民の手に取り戻す取り組み、農業をはじめ産業、雇用などあらゆる面に影響を与える環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）問題など、どの面をとっても重大な情勢の中で開催されています。私たちは今回の公害環境デーを「安全・人間優先のまちへ転換 いそごう！公害被害者の救済、とめよう！地球の温暖化、まもろう！生物の多様性」というスローガンのもとに開催します。それは、派遣労働に端的に示されているように人を「物」のように扱い、大企業の利潤追求・大型開発の前に「安全」が無視される社会に対し、私たちは「人間」と「安全」を優先する社会に大きく転換していくことが求められていると考えるからです。

私たちはこうした情勢だからこそ、公害・環境問題について大いに語り、周りの人に訴え、共同の輪を広げ、私たちの力で情勢を明るい方向に変えていきましょう。

（1）終わらぬ公害、待ったなしの被害者救済

「公害国会」（1970年）から41年、私たちは、新たな「公害」に直面しています。

41年前の大阪の空はいつもどんより灰色で、電車も国道を走るクルマも昼間でもライトをつけて行き交っていました。公害対策基本法には、経済発展との「調和条項」があって、空気も水も土も、高度経済成長の名の下に大企業の汚し放題。「緩慢な殺人」（公害）が各地で頻発しました。全国に広がった「公害なくせ」の住民運動に押されて政府は、公害対策基本法や大気汚染防止法の改正、水質汚濁の規制強化に踏み切り、「調和条項」を排しました。公害の規制と被害者救済を担う環境庁の発足と公害環境行政に転機をもたらした革新府政の扉が開かれたのが71年。公害デーのスタートはその翌年でした。

1. 大阪における3つの公害と被害者救済

■泉南アスベスト

地域が丸ごとアスベスト災害に見舞われ、中皮腫や石綿肺がんになった患者たちが国に対して損害賠償を求めた泉南アスベスト裁判の1審判決（2010年5月19日）は、国の責任を全面的に認める画期的な判決でした。国と石綿工場との共同不法行為を認めた判決は、全国に広がるアスベスト被害者の全面救済に向けた重要な一歩を記しました。この判決を踏まえて原告・弁護団は控訴断念を勝ち取る運動を展開、厚生労働大臣と環境大臣の支持を取り付けたものの最終的に国は控訴しました。

2010年11月17日に行われた控訴審の第1回口頭弁論で裁判所は、和解勧告を出しませんでした。裁判長は、「次回公判には裁判所の考えを示す」と表明し、本年1月13日の第2回口頭弁論では国に対して原告の「和解」による早期解決という強い要望に対して国はどうするのかの見解を2月22日の進行協議の場で明らかにするよう求めました。

この間原告らは、国と裁判所に早期解決を求める団体署名を積み上げるとともに、国会議員への要請行動、環境・厚生労働両省への宣伝活動などを精力的に展開しています。国は、裁判所の解決勧告を待つこと無く被害者救済の話し合いのテーブルにつくべきです。この裁判の期間中にも既に何人かが亡くなっています。日々悪化する病状と向き合うアスベスト被害者にとって「命あるうちに解決を」の願いは痛切です。残された時間は減るばかりなのですから、国は誠実かつ迅速に解決をめざさなければなりません。

■寝屋川廃プラスチック工場による健康被害

人々が安心・安全に住み続けたいと願う住宅地に近接して突然持ち込まれた2つの廃プラスチック処理工場、工場からの排出ガスが住宅地を襲い住民に深刻な健康被害を引き起こしています。住民らは、工場の操業差し止めを求めて裁判を起しましたが、第1審判決は住民側敗訴。本年1月25日の控訴審判決は健康被害(症状)の存在は認めましたが、それが二つの施設に原因するものとは認定できないとして、控訴棄却を言い渡しました。原告・弁護団は、健康被害の原因究明をもとめて、被害者が中心になって公害等調停委員会(公調委)に訴えることを検討しています。

廃プラスチック工場の問題は、「リサイクル」の名の下に府内どこでも起こりうる問題です。大気汚染や悪臭などの公害を未然に防止するとともに、健康被害を出さないための規制と監視が欠かせません。周辺住民に健康被害が発生しているのは事実であり、私たちは施設を設置した寝屋川市をはじめとする各自治体と設置を許可した大阪府に対し、住民の健康と安全を守る立場から、健康被害の実態調査や原因究明についてそれぞれの役割と責任、権限において行うことが強く求めます。

■大気汚染によるぜん息患者への救済制度をつくる

大気汚染は近年、少しずつ改善傾向にありますが、たとえば二酸化窒素(NO_2)では、沿道を中心に高い濃度の汚染が続いています。大阪でも、自動車排ガス局2カ所(住之江と今里)で環境基準をオーバーしています。(平成21年度)また、2009年9月に環境基準を決めたばかりのPM2.5についても軒並み環境基準を上回っています。こうした大気汚染状況と符合するように子どものぜん息患者が急増し、小学生より中・高校生で増加率が高い傾向が続いています。(文部科学省：学校保健統計)

こうしたなか、「せめて医療費だけでも無料にしてください」—あおぞらプロジェクト大阪と「ぜん息被害者の救済を求める会」が呼びかけた大阪府条例の制定を求める署名が、3万人を超えて広がりを見せています。今回の署名運動は、次のような意義を持っています。

- ①依然として深刻な NO_2 やS PM_{10} による大気汚染の実態を知らせ、有効な対策を求める活動への共感を広げる。PM2.5観測体制の確立、具体的で実効ある対策の強化につなげる。
- ② NO_2 の環境基準の大幅緩和、公害指定地域の解除など公害環境行政の後退の誤りを明らかにする。大気汚染常時監視体制の削減などの公害環境行政の後退を許さない市民の共同を広げる。
- ③大気汚染公害によるぜん息などの呼吸器疾患被害者の救済制度を東京都に続いて大阪府で実現することが、国による新しい公害被害者救済制度の創設につながる。

環境や健康で安全なまちづくりに関心を持つすべての人々との対話をして、署名への支持と共感を広げましょう。被害者を掘り起こし、被害者とともに救済への世論を高め、加害企業や自治体・国を動かす運動への参加を呼びかけましょう。そして、2月府議会をめざして、10万人の目標を必ず達成しましょう。

2. 憲法25条を具体化し、温暖化防止の取り組みと合わせて

私たちは、大阪における3つの公害反対と被害者救済を求める運動を、憲法25条に示されている「生存権」を具体化する運動、そして、地球温暖化防止の取り組みと重ねて、子どもや孫たちに安全で安心して暮らせる環境を手渡すたかいと位置づけて取り組みます。それは、次の40年(2050年：温暖化規制長期目標年)を見据えた未来を引き寄せる崇高な活動です。

(2) 地球温暖化防止・ CO_2 削減と生物の多様性

1. 地球温暖化防止・ CO_2 削減とCOP16

日本では熱中症による被害、ロシアでは猛暑による森林火災、中国やパキスタンでは豪雨による大洪水、南米では異常な寒波など、2010年の夏は世界中で異常気象が猛威をふるい、地球温暖化の防止

がますます切実な人類共通の課題として、私たちの目の前に迫って来ていることを実感させられました。

こうした中、12月にメキシコ・カンクンで開催された国連気候変動枠組条約第16回締約国会議(COP16)は、「京都議定書の期限切れ後に空白期間が生じないように作業部会で出来るだけ早い協議完了を目指す」「世界の温室効果ガスを大幅に削減し、産業革命以降の気温上昇は2度以内に抑制する」「コペンハーゲン合意に基づき先進国、途上国が示した温室効果ガス排出削減目標・行動に締約国全体が留意する」などを骨子とする「カンクン合意」を採択しました。「カンクン合意」は、議定書のような法的拘束力を持つものではなく、また、CO₂の削減では全体を合計しても25%削減は無理といわれる「コペンハーゲン合意」の目標・行動にとどまっているなどの弱点はあります。しかし、アメリカを含む先進国には削減目標を掲げて率先して取り組むことを要求し、また、中国やインドなど途上国に対しても抑制に向けた計画策定を促す、そして、削減の取り組みを国際的に検証する制度の設置や途上国支援のための基金の創設などを盛り込んでおり、今年南アフリカ共和国で開催されるCOP17での最終合意に向けて、重要な「橋渡し」「足がかり」となりうる合意です。COP17に向けて、「CO₂を2025年までに25%、50年までに80%削減する数値目標を確認し、それを実現するために『共通だが差異ある責任』の原則に立って『先進国』『途上国』が取り組む法的拘束力のある合意形成を！」という世論を大きく盛りあげていくことが重要になっています。

一方、日本政府は、自らが議長国となって取りまとめた京都議定書の延長に反対し、「化石賞」を2度も贈られるなど世界から厳しい批判を浴びました。日本政府が延長に反対したのは鉄鋼、電気、石油、自動車などの産業界の意向を代弁したものであることは明らかなです。私たちはこうした日本政府と一部産業界の姿勢を、厳しく批判していかなければなりません。

2. 政府の「地球温暖化対策基本法」

民主党政権は、2010年3月に「地球温暖化対策基本法案」を国会に上程しましたが、6月の国会会期末とともに「廃案」となりました。その後、春の「地球温暖化対策基本法案」と基本的には同じ内容の法案を10月に国会上程しましたが、これも臨時国会の会期末とともに廃案になりました。

民主党政権が国会に上程した「地球温暖化対策基本法案」には、削減目標の実行に主要国の「合意」などという前提条件をつけたり、自然エネルギー・再生可能エネルギーの導入目標はわずか10%にとどまる一方で、安全性や処理方法に問題のある原子力発電(原発)を「温暖化対策の切り札」と位置づけたり、生産量が伸びれば排出量も青天井に伸びてしまう原単位方式を入れたりしている問題点があります。

国が中長期の温室効果ガス削減目標を掲げ、それを実現するための基本的な方針をまとめた「温暖化対策基本法」を持つことは重要なことであり、私たちは以下のような視点を盛り込んだ「基本法」の早期実現を強く求めるものです。

1. 日本のCO₂25%削減にはいかなる条件もつけずに、先進国の一員として率先してすすめる立場に立ちきること。その実績をもとにEU諸国とも連携しながら、削減に消極的な先進国や途上国を説得する役割を果たすこと。
2. 「原発」に依存するエネルギー政策を転換し、太陽光発電や風力、水力、バイオマスなどの日本の立地条件、自然環境にあった自然エネルギー・再生可能エネルギーに軸足を根本から移した対策を立てること。
3. CO₂の削減では、大量生産—大量輸送—大量消費—大量廃棄といった生活様式、生産様式を根本から見直すような国民的な意識改革運動と共に、CO₂排出の大きな部分を占める電力、石油、鉄鋼、自動車など大企業にCO₂削減を義務付けること。

3. 生物の多様性をまもる取り組みとCOP10

昨年 10 月には名古屋市で「遺伝子組換え作物に関するカルタヘナ議定書」第 5 回締約国会議(MOP 5)と「生物の多様性に関する条約」第 10 回締約国会議(COP10)が開催されました。ここでも先進国と途上国の激しい対立で、「合意」が危ぶまれましたが、議長国であった日本政府の働きかけで、前者については「名古屋議定書」を、後者については「愛知目標(ターゲット)」という合意文書を採用しました。

名古屋議定書では、「各国は自国の天然資源に対して主権的権利を有する」として、先住民が「伝統的知識」として持っている動植物や微生物の遺伝子情報、化学成分が、薬の開発などに役立ってそれが大きな利益をもたらした場合、先住民にも利益の配分を受ける権利があることなどを確認しています。また、愛知目標では、「生物多様性の損失を止めるために効果的な緊急行動を取る」という目標を確認するとともに、生態系保全のための 20 項目の目標・行動を確認しています。

こうした合意を形成する上で議長国として日本政府の果たした役割は評価するものですが、同時に、議長国としてこの「名古屋議定書」「愛知目標」、とりわけ「愛知目標」に基づいて生物の多様性を守る取り組みを率先してすすめるべき日本政府が、その一方で、ジュゴンやサンゴなど守るべき自然がいっぱいある沖縄・辺野古に米軍基地を建設しようとしたり、生物多様性の宝庫とも言うべき日本の農業を成り立たなくさせてしまう TPP に突如参加しようとしたりと、まさに「言っていること」と「やっていること」がまったく矛盾しているものとして厳しく批判されなければなりません。

4. 地球環境をまもる府民運動を

地球温暖化防止・CO₂削減、生物の多様性を守る取り組みは、子どもたちやこれから生まれて来る人たちに生存可能な地球環境を残すという重要な課題です。次のような府民運動を大きく進めましょう。

- COP16 の成果を生かし、今年の COP17 では、数値目標も明確で法的拘束力も持った国際的な「合意」ができるよう世論を大きく盛り上げよう。
- 生物の多様性を守る取り組みでは、政府は「名古屋議定書」「愛知目標」を守ること、辺野古へ米軍軍事施設の建設や TPP への参加を取りやめるよう要求しよう。
- 国際公約としての CO₂ 25%削減を実現し、本格的な「低炭素社会づくり」を目指す「地球温暖化対策基本法」を早期に実現しよう。
- 大阪府と各自治体に地球温暖化防止計画・CO₂削減目標、生物の多様性を守る計画を作らせ、実行させる取り組みを強めよう。
- 市民ベースでの地球温暖化防止の取り組み、里山や水辺、自然公園など、生物の多様性を守る取り組みなどを交流し、身近なところから考え、行動を起こしていこう。

(3) 大阪府・市町村の環境行政の実態と課題

1. 今、府民の生活環境は

過去 100 年の平均気温の推移は、全国が約 1℃の上昇に対し、大阪はヒートアイランド現象もあって約 2.1℃も上昇しています。その結果は、老人や弱者には生存権を脅かすものにすらなっており、「ゴヤカーテン」や「屋上に芝生を」、「ミスト」などで解決できる問題ではなくなってきました。

NO₂は改善されたとはいえ、観測局の 6 割が日平均の 98%値で 0.06ppm~0.04ppm のゾーンにあります。大阪府は上限値の 0.06ppm 以下になったことを捉えて「環境基準を達成した」といいますが、その下でぜん息患者が増え続け、未認定・未救済の公害患者が多数生まれている状況からも、黒田革新府政時代の環境目標値・0.02ppm 以下に引き下げることが必要です。また、問題になっている PM2.5 について観測体制の確立とともに発生機構の解明、環境モニタリングが重要な課題となっています。

光化学スモッグの予報・注意報発令は昨年とほぼ変わりませんが、5 年ぶりに被害の訴えが 1 件発

生しました。光化学スモッグの主な成分である光化学オキシダント濃度は、依然、環境基準を達成しておらず、基準値 0.06ppm 超の日数は昭和 50 年代後半から増加傾向にあります。

循環型社会に向けて廃棄物発生抑制には大量消費型社会をつくっている政策の転換が基本です。大阪は一人当たりの一般廃棄物の排出量が全国ワースト 1 となっています。これは事業活動によって発生する廃棄物が含まれているからのようです。フェニックスの埋立処分場も限りがあり、大阪府の「廃棄物処理計画」による目標とその達成、各市町村「廃棄物処理計画」の具体化が重要です。

大阪の河川は工場の排水規制や下水道の整備等で改善されつつありますが、大阪湾では赤潮や貧酸素水塊が発生しています。総量規制によって水質の汚濁負荷を押さえること、また、肝臓・腎臓への障害や発ガン性などの毒性がある溶剤などに含まれる 1,4-ジオキサン等の新たな排出規制が必要です。

2. 大阪府の橋下知事のもとで

①大阪府政の行方

大阪府の橋下知事は、大阪府と大阪市を一元化する「大阪都構想」、大阪府・大阪市の解体、さらには「道州制の導入」などを盛んに宣伝し、これで全てが解決するのかのように述べています。しかし、その実態は、「身近なサービスは市町村へ」「府民には自立と自助を」「大阪府は空港、道路など大型開発・産業基盤整備に特化し、関西州を目指す」などで、具体的には①「ビジョン大阪」の推進、②府庁舎の WTC 移転、③全市町村への事務の権限委譲、④補助金の市町村交付金化などとなっています。これらが関西財界の意向、願望を代弁したものであることは明らかです。

しかし、府民の要求は大阪自治労連の 4200 件におよぶ住民（きずな）アンケートでも、財政が厳しくても充実してほしいという要求として橋本知事が切り捨てた雇用、福祉、医療、安心・安全への要求が 7 割～8 割を占めています。橋下知事の目指す方向と府民の要求は大きく乖離しています。

②大阪府の環境施策の方向は

◆健康実態の分析なしの大阪府新環境総合計画

現在、10 年先を見通した「大阪府新環境総合計画」が議論されていますが、「計画」推進の視点に地域団体・NPO、府民を中心にすえながら、施策の目標値、社会的責任のある企業や行政の責任をあいまいにしているところがあります。また、「効率化」の美名のもと、「計画」を推進する責任体制が明らかではありません。府民の健康実態に対する分析は完全に欠落しています。「計画」を推進するためには、大阪府の庁内に環境施策推進の部的組織体制をつくり、行政水準の維持向上を図ることが先決です。

◆環境農林水産総合研究所の独立行政法人化

環境農林水産総合研究所は平成 19 年 4 月に環境（旧公害監視センター）・農林（旧農林技術センター）・水産（旧水生生物センター・旧水産技術センター）の三試験研究機関を統合させた組織です。その環境農林水産総合研究所を、橋下知事は平成 24 年 1 月から独立行政法人にしようとしています。ダイオキシンなどの大気・水質など環境モニタリングや分析の精度管理を行い、環境基準遵守の実態を監視するためにも、こうした事業は民間化につながる独立行政法人化ではなく、大阪府が自ら行うことが必要です。

◆大阪府「財政構造改革プラン」による環境行政の切り捨て

橋下知事の大阪府「財政構造改革プラン」は毎年 600 億円、平成 23 年度から 3 年間で 1800 億円削減するという計画です。毎年、人件費で 270 億円、事業費で 330 億円を削減しようとしています。環境施策関係では、これまでの削減に加えて、向こう 3 年で大気汚染常時監視で 1500 万円、大気・水質環境調査分析業務で 300 万円など公害・環境行政の基本となる環境モニタリング関係の予算を削減しようとしています。

◆市町村への権限移譲による環境行政の後退

平成 22 年度からの 3 年間で、市町村へ特例市並みの権限移譲をするというもので、大気汚染、水質汚濁、ダイオキシンの曝露、土壌汚染などを規制する 11 の関係法令の権限を大阪府から市町村へ移すというものです。移譲される市町村は財源と人員の確保の目途がなく、大阪府からのサポート体制がほとんど見込まれない状況のなか、公害の規制や市民の環境保全が確保できるのかという不安が大きくなっています。住民サイドからしっかり監視し、環境保全に必要な体制の確保を求める必要があります。

3. 市町村と大阪府の温暖化対策

大阪から公害をなくす会の温暖化委員会が実施した主な自治体に対する温暖化対策に関するヒアリングでは、多くの自治体が温暖化対策として①太陽光発電への補助、②企業や家庭の省エネ診断・省エネ改修への補助、③環境家計簿の推奨に取り組んでいること、しかし、“人も金もない”というのが現場担当者の悩みになっていること、生物多様性の取り組みはほとんどのところがこれからという実態にあることが明らかとなりました。一方、大阪府に対するヒアリングでは、大阪府として様々な計画・取り組みはあるものの、全体に総花的で予算も少なく、また、府下の市町村の温暖化対策との連携が全くないことも明らかとなりました。

4. 安全・安心な大阪をつくるために

地球温暖化による猛暑、海水の温度上昇、集中豪雨・ゲリラ豪雨、サイクロン、森林火災、などの異常気象現象で、熱中症、水害、水不足、干ばつ、食糧減産、生態系の破壊など、暮らし、生存への被害が見逃ごせない状況になっています。地震対策も引き続き大きな課題です。

民主党政権のもと無駄な事業の見直しの名の下に「事業仕分け」が行われましたが、米軍に対する思いやり予算や防衛費には手をつけない一方で、気象観測所の予算など必要な予算が削減され無人化になるという事態も起きています。自然災害の対策として、不必要な大型プロジェクトの予算こそ見直し、過去の建造物の橋や道路などの生活に密着した公共事業を重視し、予算化する取り組みが重要になっています。

終わりに

大企業奉仕の施策の拡大によって、公害・環境行政など府民の生命に関わる必要な施策が切り捨てられ、私たちの生命と暮らしが脅かされています。そんな流れにストップをかけ、安全・安心、人間優先の社会に転換するために大いに奮闘しましょう。

以上

第 39 回公害・環境デー「基調報告」関連資料

●カンクン合意の骨子（「赤旗」2010 年 12 月 14 日付）

- 一、（京都議定書の期限切れ後に）空白期間が生じないように作業部会で出来るだけ早い協議完了を目指す。
- 一、世界の温室効果ガスを大幅に削減し、産業革命以降の気温上昇は 2 度以内に抑制する。
- 一、途上国が直面する温暖化の悪影響に対処するための「カンクン適応枠組み」を創設する。
- 一、2020 年までに途上国支援のため年間 1000 億ドルの「緑の気候基金」を創設する。
- 一、途上国は 2 年に 1 度、排出削減行動を報告し、国際的な検証を受ける。
- 一、（コペンハーゲン合意に基づき）先進国、途上国が示した温室効果ガス排出削減目標・行動に（締約国全体が）留意する。

●名古屋議定書の骨子（「朝日」2010 年 10 月 30 日付夕刊）

- ▽遺伝資源を利用する場合は、事前に原産国の許可を得る
- ▽資源を利用する側は、原産国側と利益配分について個別契約を結ぶ
- ▽資源に改良を加えた製品（派生品）の一部は、利益配分の対象に含むことができる。対象にするかどうかは、契約時に個別に判断
- ▽不正に持ち出された資源ではないかをチェックする機関を、各国が一つ以上設ける。機関の性格は各国で判断

●愛知目標（ポスト 2010 年目標）

- 2050 年までの長期目標＝自然と共生する世界
- 2020 年までの短期目標＝生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する。

●愛知目標（ターゲット）の「20 の個別目標」の主な内容（「朝日」2010 年 10 月 30 日付）

- 目標 1 (認識)＝生物多様性の価値と持続可能な利用のための行動を認識する。
- 目標 2 (政府計画)＝生物多様性の価値を開発戦略と統合、国の会計制度などに組み入れる。
- 目標 3 (有害措置禁止)＝条約などと整合するよう、多様性に有害な奨励措置を廃止する。
- 目標 4 (関係者)＝政府や企業などが持続可能な計画を実施する。
- 目標 5 (自然生息地の損失速度)＝すべての自然生息地の損失速度を少なくとも半減させる。
- 目標 6 (漁業)＝魚や水生生物を生態系に基づいた方法で管理・捕獲し、乱獲を避ける。
- 目標 7 (農林業)＝農・林業地域を、生物多様性を保全しながら管理する。
- 目標 8 (過剰栄養)＝富栄養化を含む汚染を有害にならない水準に抑える。
- 目標 9 (外来種)＝侵略的外来種とその移入経路を特定し、抑制または根絶する。
- 目標 10 (気候変動)＝気候変動など脆弱（脆弱）な生態系への人為的圧力を最小化する。
- 目標 11 (保護地域カバー率)＝特に重要な陸・内陸水域の少なくとも 17%、沿岸・海域の 10% を保全する。
- 目標 12 (絶滅危惧種)＝既知の絶滅危惧種の絶滅を防ぎ、最も減退している種の保全状況を改善する
- 目標 13 (栽培種の遺伝多様性)＝作物や家畜の遺伝子の多様性を維持する。
- 目標 14 (生態系サービスの公平なアクセス)＝生活に不可欠なサービスを提供する生態系を保護する。
- 目標 15 (生態系回復)＝悪化した生態系の 15% 以上を回復する。
- 目標 16 (A B S)＝国内法令に従って名古屋議定書が発効し、運用される。
- 目標 17 (国家戦略)＝効果的で参加型の、最新の生物多様性戦略を策定する。
- 目標 18 (伝統的知識)＝先住民と地域社会の伝統知識と持続可能な利用を尊重し、保護する。
- 目標 19 (科学技術)＝科学的基盤、技術を改善し、共有、移転、適用する
- 目標 20 (資金)＝戦略計画を効果的に実施するための資金動員を増やす

●微小粒子状物質（PM_{2.5}）健康影響評価検討委員会の報告（2008 年 4 月 4 日）

<微小粒子状物質の健康影響について>

- 呼吸器系・循環器系の死亡リスクの増加、症状・機能の変化及び入院・受診数の増加に関する疫学知見から、粒子状物質において従前から認められている呼吸器系の健康影響が微小粒子状物質においてもみられ、また、新たに微小粒子状物質による循環器系や肺がんの健康影響がみられた。
- 今般の評価は、以下の不確実性の下に評価されたことに留意する必要がある。（略）
- その一方、これらの不確実性の存在にかかわらず、総合的な評価をすると、微小粒子状物質が、総体として人々の健康に一定の影響を与えていることは、疫学知見ならびに毒性知見から支持される。大気中粒子状物質の曝露に関して観察される相対リスクは他の曝露要因と比較して必ずしも大きくはないものの、公衆衛生の観点から微小粒子による健康影響を軽視することはできない。このため、今回の検討で判明した微小粒子に関する様々な影響について、さらに定量的な評価に関する考察を進める必要がある。

●橋下知事が切り捨ててきた主な府民施策（「明るい会」学習討議資料（2010年9月）

○教育

- *私学助成制度（授業料軽減・経常費助成）の改悪
- *府立高校教務事務職員 350 人の雇い止め
- *学校警備員補助金の廃止（2010 年度末で廃止予定）

○中小企業

- *中小企業振興費の削減（2008 年度は 2005 年度の半分に）
- *商業振興関連費の削減（2008 年度は 2005 年度の 10 分の 1 に）

○福祉

- *精神障害者権利擁護システムの廃止
- *障害者団体等への団体補助金の廃止
- *公害死亡見舞金の廃止

○文化・青年・女性

- *府立国際児童文学館の閉館、府立図書館への統合
- *大阪センチュリー交響楽団への補助金の大幅削減
- *府立青少年会館の廃止
- *府立ドーンセンターの機能縮小

●「財政構造改革プラン」で廃止・見直しが打ち出されている主な事業（同）

○救命救急センター事業への支援廃止、移管

- *千里救命救急センターへの支援事業費 3.5 億円の廃止
- *泉州救命救急センター事業を泉佐野市に移管（2013 年度から）
- *中河内救命救急センター事業を将来的には東大阪に移管

○教育費・私学助成の一層の削減

○府立施設の縮小・廃止・使用料値上げ

○中小業者向け融資支援の「打ち切り宣言」

○府営住宅を半減

○福祉・医療費助成の廃止・見直し

- *障害者福祉施設機能強化推進事業の廃止
- *小規模通所授産施設機能強化支援事業の廃止
- *老人福祉施設運営助成金の見直し
- *特定健診・特定保健指導公費負担事業の見直し

●一方でムダな大型開発、大企業支援は推進（同）

- *阪神高速大和川線建設……………235 億円
- *WTC ビル購入・改修費……………117 億円
- *安威川ダム・梶尾川ダム建設費…………… 81 億円
- *関西空港 2 期事業…………… 23 億円
- *国際文化公園都市（茨木市彩都）開発事業…………… 20 億円
- *シャープと関連企業への補助金……………244 億円

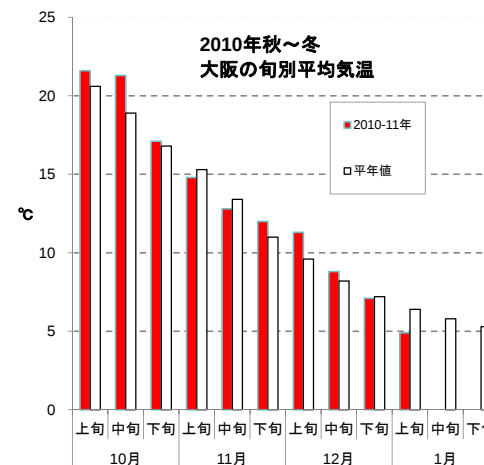
猛暑のち寒気団 地球環境を考える



2011年1月29日
大阪公害・環境デー

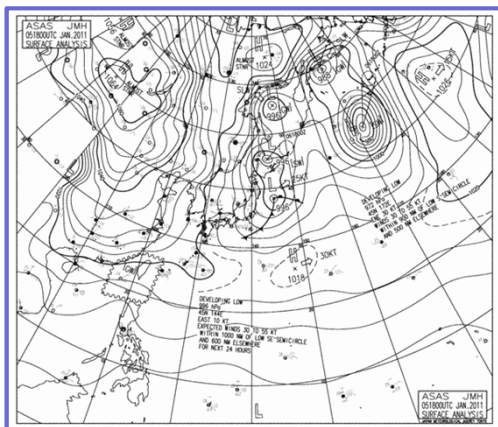
まいどーっ
岩本智之でございます。
(*^_^*)

ブルルッ、寒つぶー



クリスマスと大晦日に凄いカンパをもらって、そのまま・・・

それもそのはず
大陸に優勢な冬将軍が居座り、
北極から産地直送の寒気団が・・・



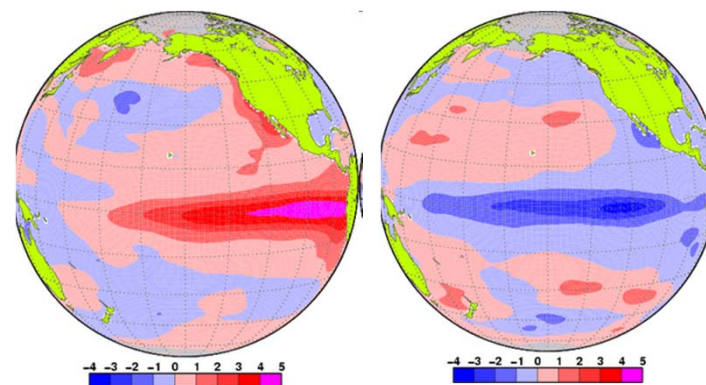
それもそのはず
大陸に優勢な冬将軍が居座り、
北極から産地直送の寒気団が・・・

ところで、
ラニーニャの年は夏はより暑く、冬は
より寒くなりやすい、とされている。

エルニーニョとラニーニャ

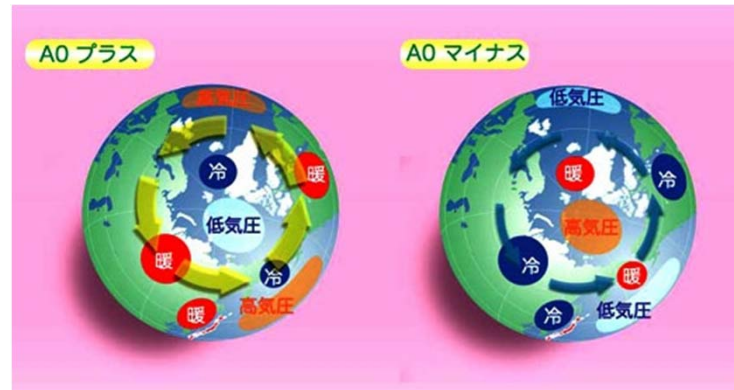
ペルー沖の海面水温が上昇

その逆がラニーニャ



1997年11月の月平均海面水温平年偏差(左)
1988年12月の月平均海面水温平年偏差(右)

北極振動



田中博「異常気象をもたらす北極振動の謎」
<http://www.jamstec.go.jp/frcgc/jp/report/2004/jan/tanaka.html>
 北極を周回する偏西風が弱くなると、寒気団が流出しやすくなる。

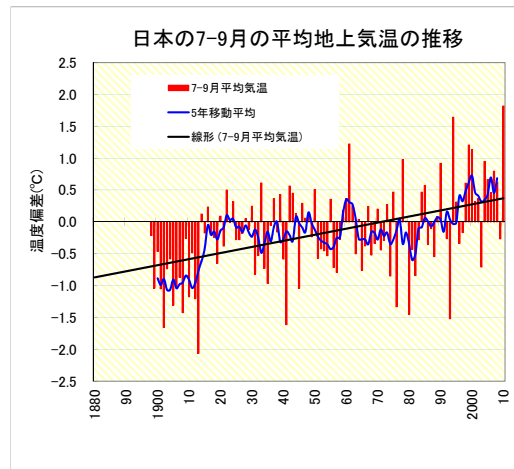
でも、皆さん！
 去年の猛暑は忘れていませんよね。

2010年の日本の天候の特徴

2011.1.4 気象庁発表

- 年平均気温は全国で高く、降水量は一部を除き多い。
- 春は気温の変動が大きい。
- 夏の日本の平均気温は過去113年間で最も高い。
- 台風の発生数が最も少ない。

2010年夏の日本の平均気温は 過去113年間で最も高かった



昨夏、「日本一暑い都市」

多治見に行ってきました 2010.8.3

2007年8月16日、熊谷とともに40.9℃を観測。70年ぶりに山形の記録を破った。



JR多治見駅前駐車場
36.3℃ 14:14



AMeDAS多治見
35.7℃ 15:00



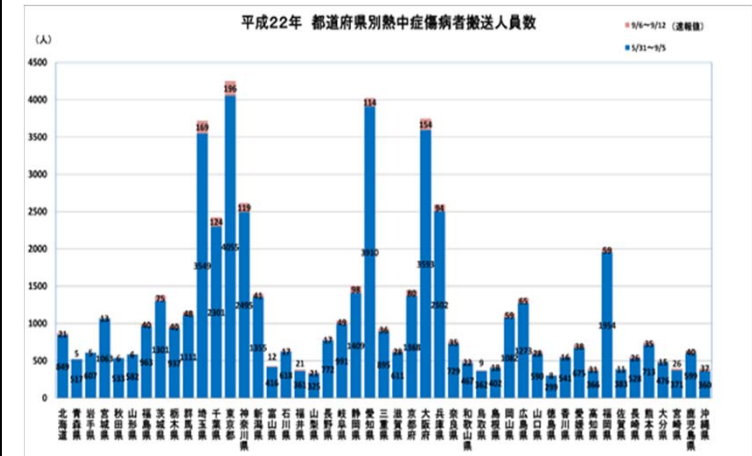
白山神社境内
33.7℃ 15:40

熱中症死者、全国で約500人

2010年7月17日～8月30日『時事通信』より

- ・ とくに関東に多い。「北関東亜熱帯」(?)。愛知県も大阪府を上回る。
- ・ すでに第二室戸台風(1961年、死者・行方不明者202人)を上回る気象災害。
- ・ 被害者の多くは65歳以上の人だが、30～40代の比較的若い人も。学校の新学期も心配。

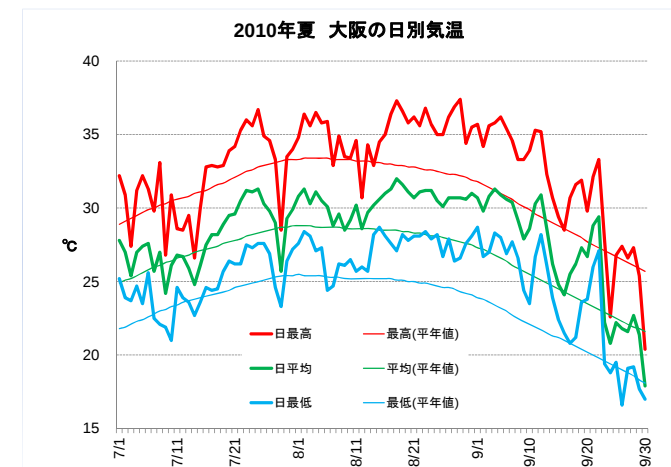
これらは決して自然災害ではない、
行政もメディアも危機意識に欠けるのではない
か。



気象庁・異常気象分析検討会

2010.9.3

- ・ 2010 年夏(6～8月)の日本の平均気温は、統計を開始した1898 年以降で最も高い。
- ・ また、夏の地域平均気温は、統計を開始した1946 年以降で、北・東日本は第1位、西日本は第4位の高い記録。
- ・ 8月の地域平均気温は、統計を開始した1946 年以降で、北～西日本は第1位。

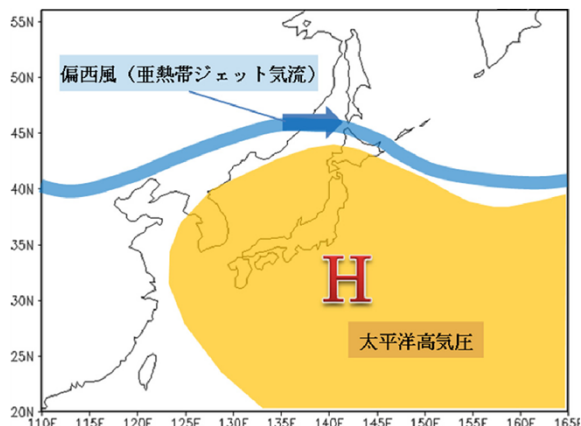


主要都市の気温 2010.7.1~9.30

地点	日数				気温(°C)		
	日平均 気温 ≥30°C	日最高 気温 ≥35°C	日最高 気温 ≥30°C	日最低 気温 ≥25°C	平均	最高	最低
		猛暑日	真夏日	熱帯夜			
札幌	0	0	17	0	22.4	26.4	19.1
仙台	0	2	47	10	24.8	28.9	21.8
東京	24	13	66	55	27.7	31.5	24.9
名古屋	22	30	71	47	27.9	32.6	24.5
京都	34	35	71	42	28.0	33.1	24.1
大阪	38	31	73	55	28.5	32.9	25.3
神戸	21	7	69	57	28.0	31.5	25.6
福岡	31	24	71	51	28.2	32.5	25.1
那覇	0	0	78	80	28.6	31.3	26.4

日本付近に高温度をもたらした要因

- ❑ 冷涼なオホーツク海高気圧や寒気の影響をほとんど受けなかったこと。
- ❑ 梅雨明け後、上空の偏西風が日本付近で平年よりも北に偏って流れ、勢力の強い太平洋高気圧に覆われたこと。
- ❑ 今春まで継続していたエルニーニョ現象の影響で北半球中緯度の対流圏全体で気温が上昇したこと、等の要因が重なった。
- ❑ また、背景として二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響。

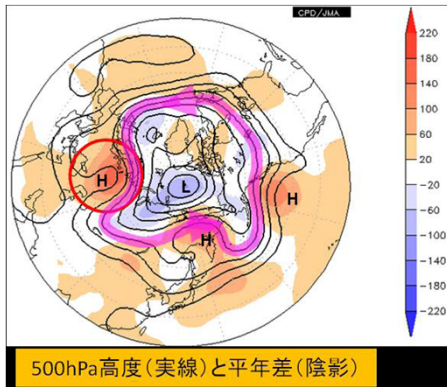


本州付近の梅雨明け直後の日本付近の偏西風(亜熱帯ジェット気流)と高気圧青線は、上空12,400m 付近の偏西風の強いところ(亜熱帯ジェット気流)を示す。橙色領域は、対流圏下層の高気圧(太平洋高気圧)を表す。

「異常気象」は北半球中緯度全域に広がり、南米に寒波

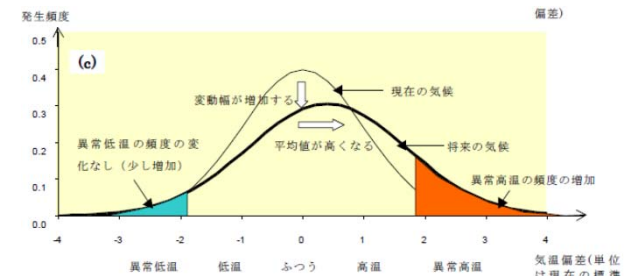
- 7月29日、モスクワで37.7°C。観測史上最高。各地で森林火災頻発。
- パキスタン北西部で大雨、300人超死亡。
- 南米に大寒波、アルゼンチンで低体温症死者13人。ブエノスアイレスでは-1.5°C、10年間で最低気温。
- パラグアイでは4人が死亡。北部では牛200頭が死んだ。ボリビアの高地では零下14度を記録。東部でも先住民6人が寒さのために死亡。

asahi.comより

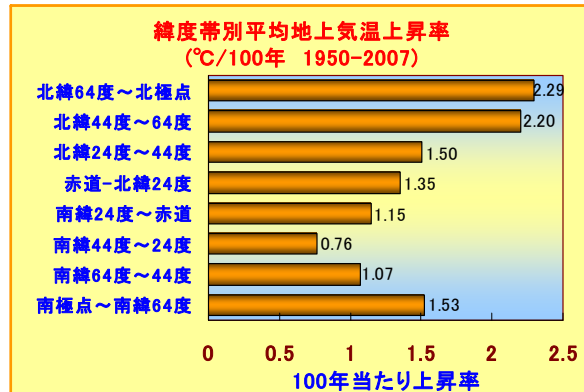


2010年7月の500hPa高度・偏差と偏西風の流れの様子
赤丸はロシア西部周辺の背の高い高気圧を示し、ピンクの矢印は上空の偏西風の流れを示す。

「温暖化」が進むと異常高温も異常低温も増える



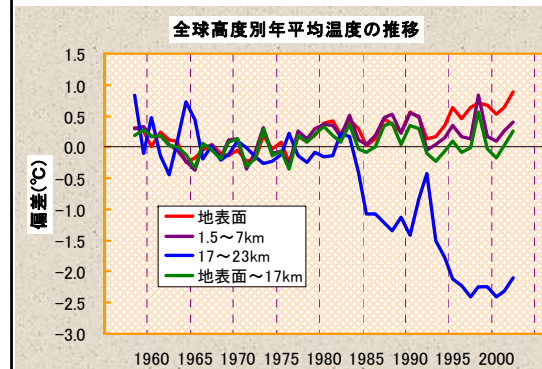
温度上昇は世界一律ではない



低緯度帯と極地の温度差が相対的に縮小した。このことがブロッッキング現象など大気の大循環に影響を及ぼしている。

<http://data.giss.nasa.gov/gistemp/tabledata/ZonAnn.Ts.txt> より作成

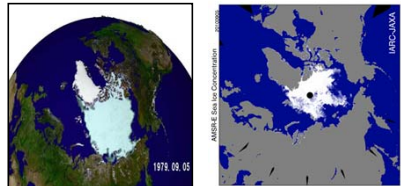
下部成層圏の寒冷化が進んでいる



温暖化は地表面だけでなく、広く対流圏に及んでいる。一方、成層圏下部では寒冷化が顕著である。そのため大気は不安定になっている。地表面から高度23kmまでの平均値にはほとんど変化が見られない。ここに地球大気の90%が存在することを考えると、温暖化も寒冷化もしていないことが分る。

<http://cdiac.esd.ornl.gov/trends/temp/angell/data.html> より作成

大阪府・自治体の「温暖化対策」 ヒアリングから見えてきたもの



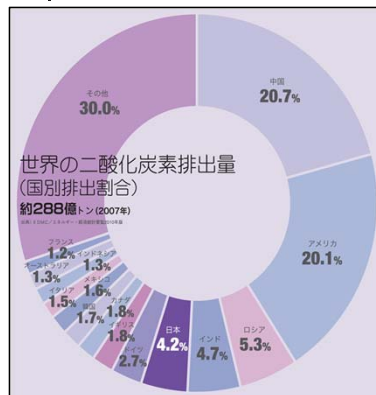
2011・1・29.

大阪から公害をなくす会・温暖化委員会

なぜ？地方自治体の政策を重視するのか

- **温暖化防止対策は待ったなし！議論を行動へ**
 - ・京都議定書の第一約束期間90年比6%削減の早期達成
 - ・日本の目標2020年に90年比25%削減の具体化
 - ・「地球温暖化対策基本法」の早期制定
 - ・「地域（地方自治体）削減計画」の策定と実効ある行動
- 2008年6月、地球温暖化対策推進法改正のゆけ
都道府県・政令市・中核市・特例市に
「温室効果ガス排出抑制計画の策定」が義務づけられた。
足元の自治体の対策がどうなっているか、
2008年 なくす会アンケート調査
2009年 大阪消団連アンケート調査
2010年 なくす会でヒアリング

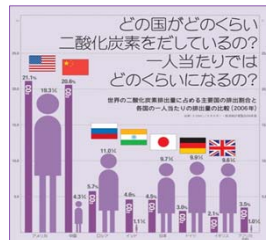
二酸化炭素世界の排出量(2007)



①	中国	5973.0	20.7%
②	アメリカ	5792.0	20.1%
③	ロシア	1536.0	5.3%
④	インド	1357.0	4.7%
⑤	日本	1220.0	4.2%
⑥	ドイツ	769.0	2.7%
⑦	イギリス	532.0	1.8%
⑧	カナダ	529.0	1.8%
⑨	韓国	476.0	1.7%
⑩	メキシコ	449.0	1.6%

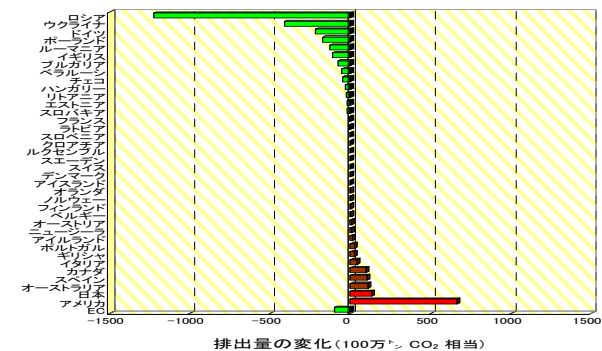
多国籍企業の
排出量が3割

共通だが異なる責任で見ると



京都議定書の進捗状況

付属書I国のGHG 排出量の変化
(1990-2002)



データ提供 岩本智
氏

京都議定書を履行するドイツ

温室効果ガス削減目標と削減実績（1990 年比）

	ドイツ		日本	
	削減目標	削減実績	削減目標	削減実績
2005 年 ¹⁾	-25%	-16% ³⁾	-	+13% ⁴⁾
2008~12 年の平均 ²⁾	-21%	-19% ⁵⁾	-6%	+7.4% ⁶⁾

1) 2005 年の削減目標は CO2 2) 温室効果ガスの削減目標 3) 2002 年

4) 2004 年 5) 2003 年 6) 2004 年

(出典) ドイツ: ドイツ領事館『環境先進国ドイツ』, 日本: 温室効果ガスインベントリオフィス

日本の温室効果ガス排出量 '2008

部門別比較(直接排出量勘定)

14740特定事業者と1425特定運輸事業者の公表データによる排出量

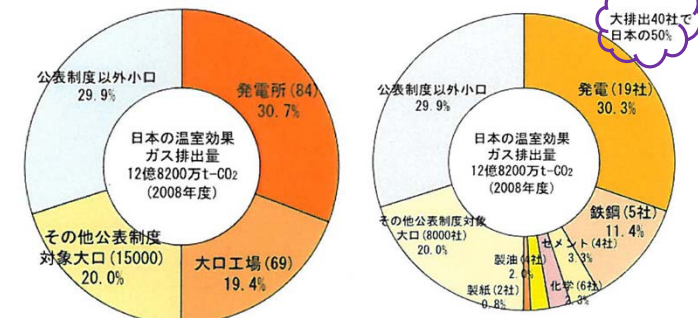


図1 150 事業所で日本の排出の半分

出典: 気候ネットワーク ホームページ

日本の排出量 ランキング

表2 日本の温室効果ガス排出量の50%を占める大口排出企業40社(2008年度)

順位	企業名	業種名	主な燃料	温室効果ガス 排出量 [万t-CO ₂]	日本全体に占める 排出割合
1	東京電力株式会社	発電	LNG など	8806	7%
2	新日本製鐵株式会社	製鉄	石炭	5251	
3	中部電力株式会社	発電	LNG など	5118	
4	J F E スチール株式会社	製鉄	石炭	5032	
5	電源開発株式会社	発電	石炭	4320	5 社で 22%
6	東北電力株式会社	発電	石炭など	3178	
7	関西電力株式会社	発電	LNG など	2711	
8	中国電力株式会社	発電	石炭など	2573	
9	九州電力株式会社	発電	石炭など	2163	9 社で 30%
10	住友金属工業株式会社	製鉄	石炭	2091	
11	北海道電力株式会社	発電	石炭など	1767	
12	北陸電力株式会社	発電	石炭など	1668	
13	株式会社神戸製鋼所	製鉄	石炭	1555	
14	太平洋セメント株式会社	セメント	石炭	1411	
15	相馬共同火力発電株式会社	発電	石炭	1162	
16	宇部興産株式会社	セメント、化学	石炭	1076	
17	新日本石油精製株式会社	製油、化学	石油	1057	
18	四国電力株式会社	発電	石炭など	928	18 社で 40%

気候ネットワーク 温室効果ガス排出量2008年度 データ分析より

ヒアリングの概要

- 実施日 2010年11月9日~12月21日
- ヒアリング要請先
東大阪・豊中・吹田・堺・大阪市・岸和田・
貝塚・寝屋川・枚方・交野・大阪府
- ヒアリング内容は温暖化対策の実態
 - ①担当部局の有無・年間予算額・抑止計画
 - ②具体的対策: 実践したこと
 - ③担当者としての悩みなど

温暖化対策予算は？

- 予算額・・・アンケート回答結果はテタラメ
担当部局も、どここの回答？と。

＊アンケートに誠実に回答することも説明責任のひとつ

- 大阪市 一般会計 1兆5千9百億円
- 温暖化対策 30億2千6百万円 0.1%
- 多くの自治体で一般会計予算の0.1%
- 最低は豊能町 1万6千円？

実際に行っている活動

- 「太陽光発電設置補助」
- 「環境家計簿」
- 「環境フェア」
- 「打ち水」
- 「ゴーヤカーテン」
- 「市民向け講座」
- 「省エネ診断(ESCO事業)」
- 「省エネ改修事業」

大阪府のCO₂ 排出量と抑止対策

温室効果ガス5299万トン(2008) 90年比8.4% 減少

CO₂排出量 5194万トン(2008) 90年比0.7%増加

＊景気後退によるエネルギー需要量減少によるもの多大。

対策 2020年比25%削減

- ① 多量排出事業者への計画的対策
- ② エコカー普及 2020年に府域自動車の50%をエコカーに
- ③ 大阪版カーボン・オフセット制度 予算化するも実績ゼロ
- ④ 建築物の省エネ
- ⑤ 校庭の芝生化 CO₂削減効果ゼロ
- ⑥ CO₂：2020年25%削減に関する国指導一切なし！

国家予算投入の環境都市・堺

平成22(2010)年度予算 206億8100 万円
(165億円は国の特定財源・補助金)

- ① 大和川線事業 92億円
- ② 連続立体交差事業 15億円
- ③ 都市計画道路整備 12億円
- ④ 堺浜再生水送水事業 2億1千万円
(シャープ工場への再生水送水事業)
- ⑤ 太陽光発電設置補助 2億8千万円
KWあたり7万円 CO₂ 1550トン削減
- ⑥ バス利用促進事業
毎月5・10日に高齢者は100円で利用
- ⑦ 自転車シェアリング
市内4カ所に450台設置 300円/日
- ⑧ 省エネ診断
- ⑨ 2011年3月 実行計画策定 バブコメ予定



頑張る吹田・計画実践の豊中

自前データーの吹田

2009年環境基本計画：90年比25%削減
基本は「消費エネルギーの削減」

- ①吹田グリーンニューデール
- ②千里ニュータウン開発ガイド
建替え時の「省エネ・緑被率向上」
大規模開発ガイドライン
事業者・市民向け

雨水タンク普及

- ③バス優先レーン等の検討

- ④廃プラはコスト重視で「燃焼化」

- ⑤太陽光設置補助KW5万円

- ⑥予算1500万円で

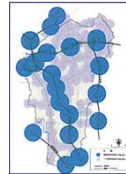
吹田市域の環境データーベースづくり

豊中：脱クルマ作戦

2004年チャレンジ70プラン作成

- ①省エネ：情報+機器購入+省エネ住宅+低利融資

- ②自動車利用抑制と公共交通利用



*マップ作製

徒歩10分で電車

徒歩5分でバス

*交通ICカード

*バリアフリー歩道

*レンタサイクル

- ③学校省エネでは費用還元

- ④省エネエコポイント（トヨカ）

温暖化防止の府民運動が必要

- アメリカは動いている。
- EUはすすんでいる。
- 中国も変化している。
- 13年以降の数値示さず「ヒンシュク」日本
- 大阪府域では？
- なぜか沈黙化する「温暖化」世論
地球規模で考えて、実践は地域で
未来を考えて、行動はいま！

2011 年 1 月 29 日（土）公害・環境デー全体会

大阪市内初の太陽光市民共同発電所「ECO まち・さわやか発電所」

柏原 誠（ECO まちネットワーク・よどがわ事務局）

ecomachinet@gmail.com

1. ECO まちネットワーク・よどがわについて

・契機 大経大現代 GP「体験型環境まちづくり教育」のパートナーシップ組織として

・設立 2006 年 12 月 → 2009 年～（会費有料化）

・現会員 正会員（16 名）・賛助会員（18 名）・団体会員（6 団体）

・主な活動

環境まちづくり活動（市民共同発電所運営，西淀川菜の花プロジェクト等）

各種イベントの開催・参加（近年の例）

環境スタディツアー富山，「ECO まち・さわやか発電所点灯式」

「コペンハーゲン COP15 報告会」「中島大水道の東淀川部分を歩く」

「東淀川区民まつり」（毎年）「映画『祝の島』上映会」（2011.2.26 予定）

機関誌発行（年 4 回）

2. ECO まち・さわやか発電所の概要

①設備

事業主体：社会福祉法人優光福祉会

→（管理委託）ECO まちネットワーク・よどがわ

場所：社会福祉法人・優光福祉会「さわやか苑」（東淀川区豊新2丁目）屋上

発電方式：太陽光発電（パネルはホンダ製）

資金調達方法：補助金＋市民寄付＋市民出資

発電能力：最大10kw/時

年間想定発電量：1万キロワット時（発電能力×1000時間，一般家庭3.5軒分）

年間CO₂排出削減量：7.4トン（石炭火力発電1万キロワット時比）

②発電実績について（2009年12月～

2010年12月）

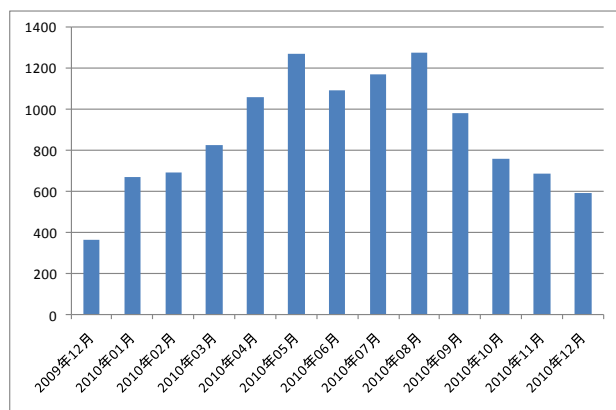
・ 想定 10000kwh

・ 運転開始からの累計

11447.38kwh

・ 2010年

11082.2kwh



③建設資金計画（概算）

【収入】

新エネルギー普及事業補助金（国）	400万	
大阪市補助金（市）	100万	
関電グリーン電力基金	59万	
市民出資（10万円×20口）	200万	
市民寄付（1000円/口）	161万	※寄付金実績（2010/5/12現在） 120万2358円（168人）

合計	920万	

【支出】

ホンダ製太陽電池パネル一式	819 万
発電量表示板	59 万
寄付募集チラシ印刷代	10 万
保守費・その他雑費等	32 万
合計	920 万

※毎年 発電量(kwh) × 12.6 円が管理委託料として優光福祉会から支払われる。
→全額出資金返還へ。

3. 成果と課題

①成果

- ・市民がエネルギー生産者になること
- ・地域のエネルギー
- ・「大阪市内初」（大阪市環境局）
- ・施設職員の意識変化
- ・イベントでの活用（現地見学）
 - ・点灯式（2010/1）
 - ・まち歩きイベント「中島大水道の東淀川部分を歩く」（2010/5）
- ・東淀川区民まつり（2010/9）

②課題

- ・設置後のマネージメント～出資金返還，維持管理などを担っていくこと
- ・設置場所を探す→自治体が公共施設などの空間を提供しては？
- ・環境保全，エネルギー問題を考えることに活用する
- ・情報発信
- ・ネットワークづくり

- ・ 事業をサポート・マネジメントするNPO，社会的企業などのネットワーク
- ・ 環境問題・エネルギー問題を施設を利用して進める地域のネットワーク
- ・ 全種類の再生可能エネルギーについての全量固定買取価格制度の導入

以上

＜第三種郵便物認可＞

市民共同発電所

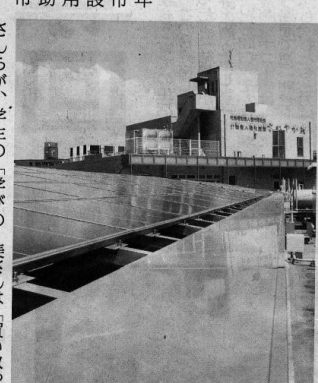
地球温暖化防止めざし あなたも電力生産者に

太陽光など自然エネルギー
を利用した市民共同発電所が
注目を集めている。市民の出
資をもとに、建物の屋根や屋
上などを借りて発電施設を設
置、売電収益を出資者に還元
する仕組み。大阪や豊中、東
大阪、枚方などの各市で、市
民団体やNPOが取り組んで
おり、地球温暖化防止策の一
つとしても効果が期待されて
いる。

大阪市東淀川区の介護老人
福祉施設「さわやか苑」。3
階建ての建物の屋上には、太
陽光発電パネル80枚がすらり
と並ぶ。

市民団体「ECOまちネッ
トワーク・よどがわ」が昨年
12月から稼働を始めた大阪市
内初の市民共同発電所の施設
だ。約920万円の設置費用
の約6割は国や市などの補助
金、残りを会員の出資金や市
民の寄付金などでまかなう。
年間の計画発電量は1万5千
キロワット。発電した電力は設置場
所を提供しているさわやか苑
に売却、収益を出資した市民
に最長20年間で還元する。ま
た、太陽光発電によって、温
室効果ガスの二酸化炭素を年
間7.4ト削減できるという。
市民共同発電所の設置は当
初、地元の大阪経済大地域活
性化支援センター長の柏原誠
と、さわやか苑施設長の塚本暁
美さんが「買い取っている電
力は施設の使用量の10分の1
程度ですが、施設の空閑に、
毎日の発電量を必ず表示板が
あり、職員の節電への意識も
高まりました。柏原さんは
「さまざまな課題もあるが、活
動を通じて一般の市民が太陽
光などの再生可能エネルギー
を使った電力の生産者になれ
ることをより多くの人に知っ
てもらえれば」と話している。

出資し太陽光発電など設置、売電収益を還元



介護老人福祉施設「さわやか苑」の屋上に設置された太陽光
発電パネル ー大阪市東淀川区

(2010/8/4 産経新聞朝刊)

子供と一緒に地域の環境調査 ～まちのお医者さんになろう ・春夏秋冬～

あおぞら財団 小平智子



四季を通じて環境調査

まちのお医者さんになろう！
(対象、西淀川区内の小学生)

- ・ 春 タンポポ調べ
- ・ 夏 セミのぬけがら調べ
- ・ 秋 ハゼ釣り大会
- ・ 冬 空気の汚れ調べ

毎回、大人も含めて100人近い参加者。

企画運営

- ・ イベントの企画・運営
子どもの参画べんきょう会

区内青少年活動の指導者 (ガールスカウトリーダー・学童
保育所指導員等)、大学生等が参加(事務局:あおぞら財
団)

- ・ 資金 子どもゆめ基金助成金
- ・ 当日の運営スタッフ 大学生
(あおぞら財団インターンシップ生等)

春:タンポポ調べ

日にち:2010年4/24

場所:大野川緑陰道路

参加者:子ども40名、大人12名、スタッフ5名。

- ・ セイヨウタンポポ(自家受粉)、カンサイタンポポ(他家受粉)
の見分け方を学ぶ。



学習



実際に調査



タンポポ分解(調査とは別班)



結果発表



夏:セミのぬけがら調べ

日にち:2010年8/17

場所:大野川緑陰道路

参加者:子ども76人 大人:35人(スタッフ含む)

講師:大阪自然環境保全協会

ねらい

- ・大野川緑陰道路に棲息するセミを調べる。
(アブラゼミの割合・個数)
- ・グループ活動を通じてお互い協力しあうことを学ぶ。



学習(大学生による紙芝居、セミの寸劇)



グループ分かれて調査



結果を新聞にまとめ、発表
(新聞は図書館等で展示)



秋:ハゼ釣り大会

日にち:10/16

参加者:子ども51人大人18人、スタッフ12人

場所:淀川河川敷

指導:緑陰道路サロン 世話人会

ねらい

- ・ハゼ釣り体験(食べる! 西淀川)
- ・普段は危ないので近づかない淀川。
楽しい体験を通じて、生物や身近な場所の環境を学ぶ。



学習(大学生が紙芝居で説明)



ハゼ釣り(60匹 釣れました)



ゴミ拾い(ゴミ袋11袋分)



食べる(天ぷらに)



冬:空気のよごれ調べ

日にち:12/27

参加者:子ども67人、大人15人の参加者とスタッフ7人

場所:西栄寺

協力:西淀川公害患者と家族の会

- ・西淀川大気汚染公害の学習
- ・ぜんそくの苦しさを知る
- ・実際に身近な場所の値がどうなのか、自分で調査、はかることで地域の環境に関心を持つ。



大気汚染の学習(公害患者さんの話) 測定
ピークフロー測定



結果をまとめる(地図と巨大年賀はがきに感想を書く)



こんな良いことがあります

環境まちづくりの人材育成

①子供が地域環境に関心を持つ

西淀川との違いを比較する 物差しを持つ。(例:キャンプで何ゼミがいるか気にする。)

②みんなで協力し調査する大切さを体験を通じて学ぶ

例:キャンプで何ゼミがいるか気にする。



こんな良いことがあります

データを得られ蓄積される

④年数を重ねることで、調査データを得られる。
例：セミのぬけがら調べ

年度	1999年度	2005年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
実施日	8/24	8月の20日間	8<18	8/28	8/18	8/17
クマゼミ	111	9148	913	240	1416	1794
アブラゼミ	0	7	7	0	26	51
合計	111	9155	920	240	1442	1845

⑤他地域と比べる(全国的な調査結果を集計している団体へ結果を提出)
大阪府身近な生物調査、タンポポ調査等



こんな良いことがあります

西淀川の環境や取り組みを多くの人に知ってもらう

⑥展示を通じて、知ってもらう。
例：西淀川図書館や文化祭で子供のつくったセミ新聞を展示。親も見に来るので活動を知ってもらう。

⑦チラシを通じて取り組みを知ってもらう
例：校長会で案内、区内全小学生にチラシを配布



こんな良いことがあります

連携がお互いにプラス

⑧参加する青少年活動団体にとって
子供たちに地域の環境問題を学べるプログラムが組み込まれる。

⑨大学生インターンにとって
地域環境問題を学習。企画・運営や指導者としての経験を積む機会。事務局NPO(あおぞら)にとって、多くの人に参加してもらえる。

⑩環境NPOあおぞら財団にとって
ミッションを遂行。

ソラダス測定運動の今日的意義と 2012年の取り組み

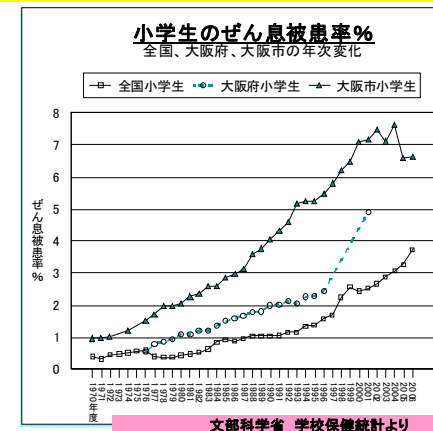
・・・大阪の大気汚染の動向と健康影響・・・

- 目次
- 1. 健康被害の状況
- 2. 大気汚染・PM2.5
- 3. ソラダス測定運動

2011年1月29日 第39回公害デ
大阪から公害をなくす会・公害環境測定研究会
久志本俊弘

児童生徒のぜん息被患と大気汚染

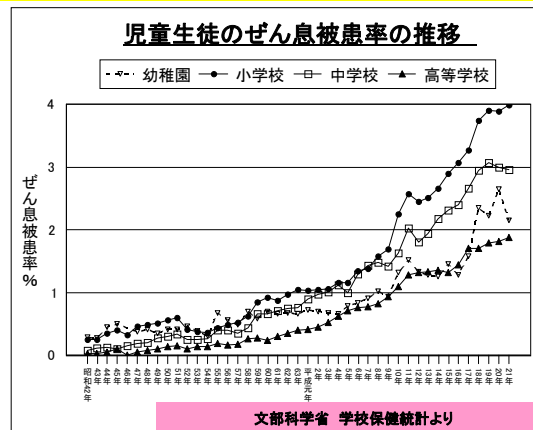
- 小学生のぜん息被患率の増加止まらず
- 全国と大阪府と大阪市の違い、明らかに高濃度汚染が続く都市地域で多い
- 大阪府のデータが最近はなし



「大気汚染と子どものぜん息被患率の相関」
(2010年測定研究会年報 長野 晃、喜多 善史) より

増え続ける児童生徒のぜん息被患率(全国)

- 全国の幼稚園児、小学生、中学生、高校生のぜん息被患率は、度どれも増加
- 中学生と高校生の増加が問題
- それぞれ、55年と比較して約10倍の増加



「大気汚染と子どものぜん息被患率の相関」
(2010年測定研究会年報 長野 晃、喜多 善史) より

2006年ソラダス報告書 NO2濃度と健康アンケート調査結果

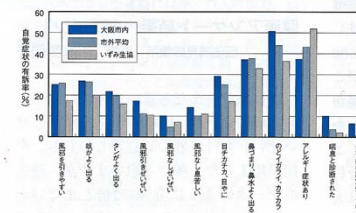
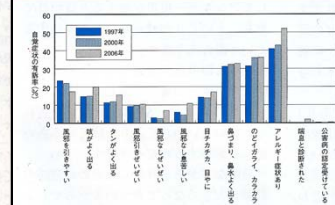


表1 回答者の年齢構成 (%)

	回答数	20～49歳	50～64歳	65歳以上	不詳
大阪市	537	27.2	36.3	34.5	2.0
大阪府外計	537	41.0	45.1	13.0	0.9
いずみ生協	665	79.5	15.3	3.8	1.4

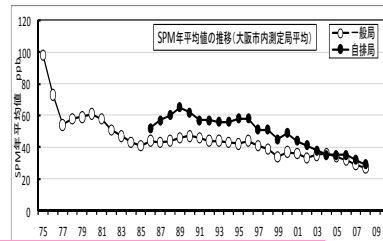
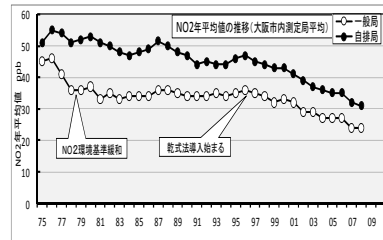


大阪市域の 大気汚染の推移

■NO₂汚染は基準緩和以後20年間ほとんど変化なかったが、この10年低下傾向が出てきている。この低下傾向は乾式測定法導入期と重なっており精度上問題が残っている。

■NO₂汚染は依然自動車の影響大きい。

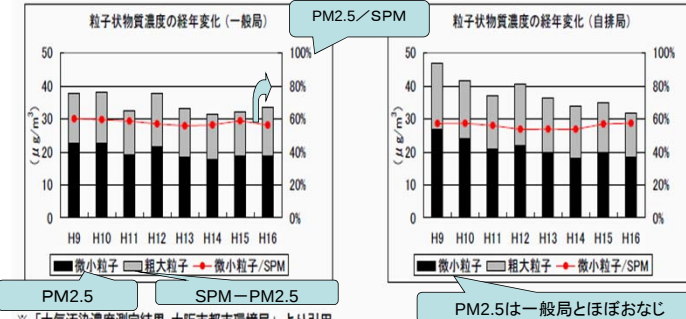
■SPM汚染は減少傾向続き、一般局と自排局の差も減りつつある。その内容も重要で、新設されたPM_{2.5}汚染などに注目する必要がある



「大阪の大気汚染の動向と環境基準」2010年1月30日
(第38回 大阪公害デー 公害環境測定研究会 西川 栄一)より

大阪市におけるPM_{2.5}測定例

(平成19年度 大阪府微小粒子状物質実態把握検討会報告書より)

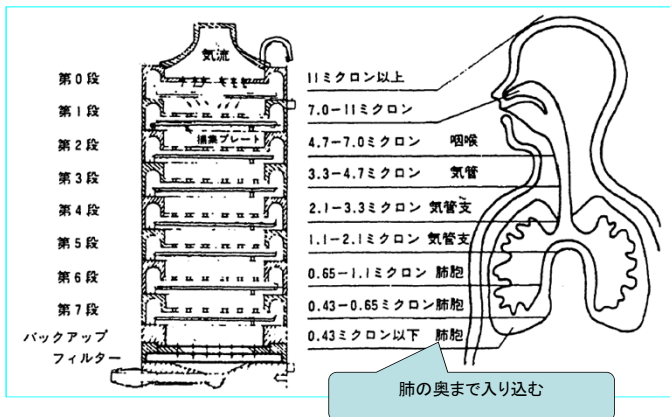


※「大気汚染濃度測定結果 大阪市都市環境局」より引用。

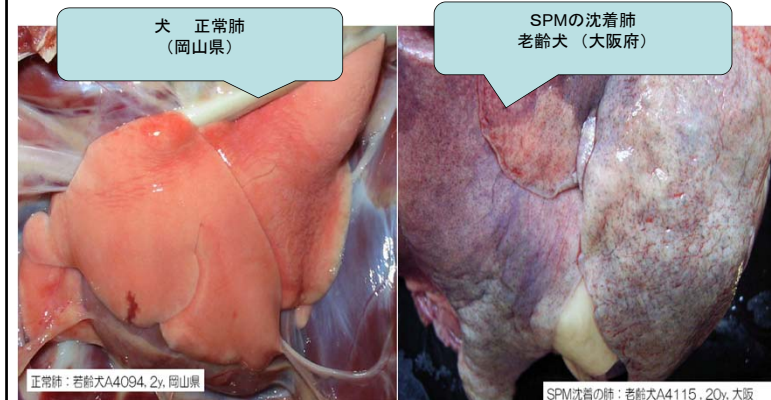
※一般局は摂陽中学校の測定値を、自排局は出来島小学校の測定値をさす。ただし、平成9年度及び10年については、摂陽中学校ではなく住之江小学校の測定値を用いた。

「大阪の大気汚染の動向と環境基準」2010年1月30日
(第38回 大阪公害デー 公害環境測定研究会 西川 栄一)より

大阪府環境情報センター資料より アンダーセンエアサンプラー説明図



微小粒子は肺に浸入して組織に沈着する 島田章則鳥取大教授の研究成果引用



2006年度 PM2.5とNO2濃度との関係以前(1978)、
2006年ソラダス報告書 後藤らのデータ

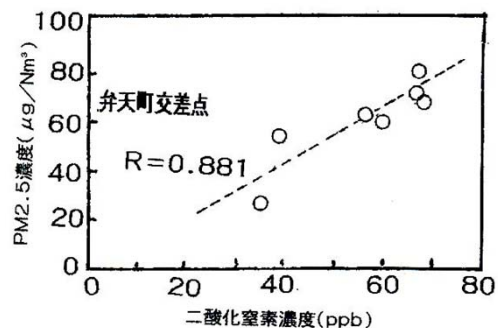
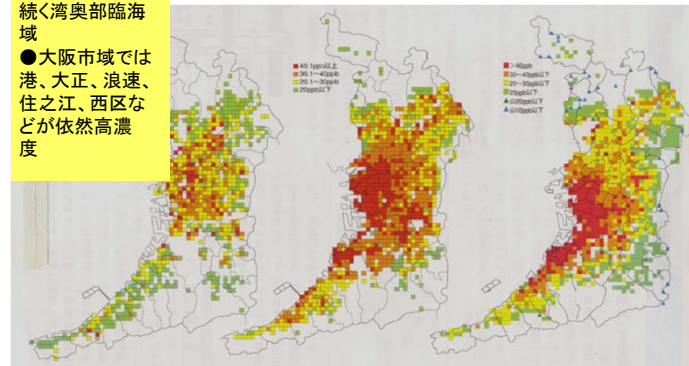


図1 PM2.5濃度とNO2濃度との関係

2006年度 NO2濃度分布
以前(1978)、前回(2000)との比較

- 汚染が広域に広がった状況は2000年と同じ
- 高濃度汚染が続く湾奥部臨海域
- 大阪市域では港、大正、浪速、住之江、西区などが依然高濃度



「大阪の大気汚染の動向と環境基準」2010年1月30日
(第38回 大阪公害デー 公害環境測定研究会 西川 栄一)より

ソラダス2012に向けた取り組み(案)

- 天谷式皿型カプセル用いた
大阪府全域のNO2いっせい簡易測定
実施日 2012年5月 (日は未定)
- ◎検討課題
 - ◇メッシュ測定:一般環境の汚染状況
 - ◇自主測定:幹線道路近傍などのオプション
 - ◇浮遊粒子状物質PM2.5:自主測定
- 健康アンケート(自主参加)

日本の環境基準とWHO指針値

	日本の環境基準	WHOの指針値(2005年改訂値)
SO2	日平均値:40ppb以下(1973.5.16告示) 1時間値:100ppb以下	日平均値:7ppb (20 μg/m³) 10分平均値:175ppb (500 μg/m³)
NO2	日平均値:40~60ppbまでのゾーン内又はそれ以下(1978.7.11告示)	年平均値:20.4ppb (40 μg/m³) 注目 1時間平均値:102ppb (200 μg/m³)
PM	SPM:日平均値:100 μg/m³以下、1時間値が200 μg/m³以下(1973.5.8告示) PM2.5:年平均値15 μg/m³以下、日平均値35 μg/m³以下(2009.9.9告示)	PM10:年平均値20 μg/m³、日平均値50 μg/m³ PM2.5:年平均値10 μg/m³、日平均値25 μg/m³ 注目
Ox	1時間値:60ppb以下(1973.5.8告示)	O3:8時間平均値 47ppb (100 μg/m³)

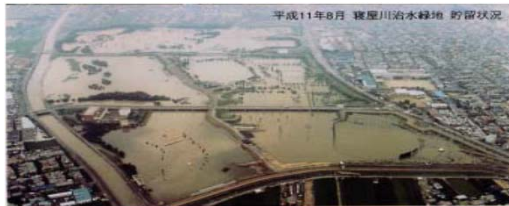
- 総じてWHO指針値に比べ、日本環境基準は緩い
- SO2:WHOは2005年に指針値を大幅に強化した
- NO2:WHO指針値は日本基準の下限に相当する
- オキシダントは定義異なるので直接比較できない

「大阪の大気汚染の動向と環境基準」2010年1月30日
(第38回 大阪公害デー 公害環境測定研究会 西川 栄一)より

第39回公害デー 『大都市災害の危険と防災対策』 強い豪雨に 強い街づくりを考える

報告 前川謙二(元府職員、国土研会員)

大東水害・都市水害のないまちづくりの闘い 先輩たちの英知
黒田府政の全国初多目的遊水地、75ミリ豪雨に大きな効果を発揮



1999.8

内閣府の「防災に関する特別世論調査」 被害が目立ちます ◆8割が自然災害に「不安」がある

- 毎年発生している豪雨や台風、地震などに触れ、自然災害に対する不安の有無を聞いています。
- 回答は「不安がある」57.1%、「どちらかと言えば不安がある」26.5%で合わせて83.6%が「不安」を訴えています。

増加する集中豪雨…気象庁観測統計(アメダス1000地点)

	1976-1986年	1998 - 2009年
時間雨量50mm以上 年間平均発生回数	160回	233回 +45%と増加
時間雨量80mm以上 年間平均発生回数	9.8回	18.0回 +80%と急激増加

集中豪雨が増加傾向、それによる災害のリスクも増している。

街なかの水害 地域から考えてみよう

雨は低いところへ、低いところへと流れていきますから、川や側溝、道路など水が集まる場所は、100ミリの何倍にもなってしまいます。降った100ミリの雨が、すべて道路(下水)に集中したら、面積の比から、5倍、10倍になる。水深は50cm、1mに。そして、道路でも側溝でも更に下流に流れていき、一箇所でも流れが悪いと、水があふれ、地域の水が集中する箇所になる。

危険なのは、広い範囲の雨、短時間に集中する豪雨

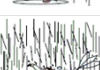
広い範囲の雨が一箇所に集中すると排水が追いつかない、短時間に集中すると排水が追いつかない、街なか水害となってしまいます。川や下水道、側溝などの流下・排水設計能力をオーバーすると、更に大きな、街なか水害となってしまうのです。街なかの水害は降雨中か、降雨の直後に起こるのです。

近年 大阪府下の 主な豪雨 (1)

- 1)1990年9月13日～14日前線が南下、大阪市1 時間63mm の激しい雨床上浸水(302 棟)、床下浸水(9,949 棟)
- 2)1994年9月6日～7日前線通過、豊中で1 時間に91mm 雨
- 3)1995年6 月30 日～7 月6 日前線停滞、河内長野で1 時間に59mm、3 時間に108mm、総降水量300mm 以上の大雨
- 4)1997年8 月5 日～7 日 前線が南下 笑面で1 時間に99mm の猛烈な雨 総降水量の多い所は210mm
- 5)1998 年 9 月 20 日～23 日 台風7 号と8 号、大阪で床上浸水(1,181棟)、床下浸水(5,526 棟)
- 6)1999 年8月10日～11日生駒、日275mmと1時間75mmの記録更新床上浸水(345棟)、床下浸水(3247棟)、崩壊(102)

気象情報を理解しよう

雨の強さと降り方の目安(1時間雨量)

20～30mm 強い雨		どしゃ降りと感じる。傘をさしても濡れてしまい、車のワイパーを速くしても見えにくくなる。小規模の災害が始まる。
30～50mm 激しい雨		バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、車の運転も困難になる。災害発生への恐れが強くなる。
50～80mm 非常に激しい雨		滝のような雨。水しぶきであたり一面が白くなり視界が悪くなる。傘もまったく役に立たない。多くの災害が発生する。
80mm ～ 猛烈な雨		息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。雨による大規模な災害の発生する恐れが非常に強くなる。

近年 大阪府下の 主な豪雨 (2)

7)1999 年9月17日八尾空港で1 時間64mm床上浸水(275 棟)、床下浸水(6950 棟)、道路冠水(40 か所)の被害

8)2004 年5月13日府広範囲で1 時間に30mm 以上の激しい雨床上浸水(172 棟)、床下浸水(1327棟)、崩壊(8 か所)

9)2006 年8月22日局地的な大雨豊中市で1 時間に110mmアメダス観測開始以来1 時間降水量が100ミリ超え初

10) 2008年8月5日～6日枚方市で1 時間に71.5mm 府北部を中心に、床上浸水126 棟、床下浸水1,959 棟の浸水害

11) 2008年 9月5 日 局所的な集中豪雨について堺市で1 時間に93.5mm 堺東地区などを中心に多数の浸水被害

豊中市(2006年)と堺市(2008年)の豪雨水害

1 時間に110mm



93.5mm H20.9.5MSN産経ニュース



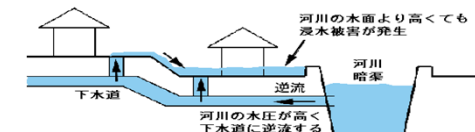
1 時間40数ミリの下水道計画を超えた猛烈な豪雨、洪水は地形に応じて溜り流れ、道路が浸水し川と化し商店住宅街なども浸水。
☆大雨はなくせないが、水害は減らしなくすことができる。

その要因の点検を住民の手で行いましょう。

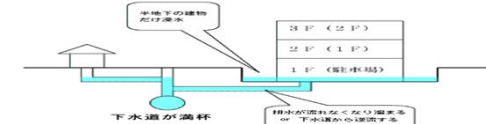
ポイント:都市型水害の発生箇所の事例

川の沿岸や流域の暗渠などで水害が発生するとき

●周辺地域の雨水が集中し地形的に沿岸低地等局所的な被害



●点在する半地下構造の建物被害のケース



建物敷地からの排水路と下水道の水位の関係に問題

水 害 対 策 のチェックリスト

☆技術的な対策

- ◆予防対策；●調査観測体制の強化●防災施設の設置及び整備
- 被災物の構造強化●水防組織の整備と演習訓練●気象・洪水予報の確実迅速化
- ◆応急対策；●情報伝達の確実迅速化●拡大防止(危険物の補強または撤去,二次災害の防止) ●避難・救護・救援 ◆事後対策；
- 被害の追跡調査●被害復旧,復興●防災施設の改良,新設

☆社会的な対策

- ◆政治的対策；●財政的対策（防災投資,水害保険）
- 法的対策（乱開発規制,土地利用対策,危険物
- ◆地域計画対策；●生活・生産手段の防護,環境安全
- 過密,過疎防止
- ◆運動論的対策；●水害研究,防災教育の振興●防災住民運動

災害を防ぐ治水に大切なことは

保水・貯留・河川・遊水のすべての能力を大きくすること。

能力を増大させる3つの手法、

- 第一に、土地利用に対する規制
- 第二に、都市計画、産業政策などによる土地利用の誘導
- 第三に、河川改修、ダム・遊水地・流域貯留などの治水事業

■各種能力を増大させる手法 ○は効果のあることを示す

各種能力を増大させる手法	保水能力	貯留能力	河川能力	遊水能力
土地利用の規制	○	○		○
政策による土地利用の誘導	○			○
治水事業		○	○	

☆治水事業と合わせて、水害をなくしていくには

科学的で安全な土地利用計画を立て、
第一の規制、第二の誘導によって、
すべての土地利用をこの計画に従わせる必要がある

☆治水方法の発想の転換・拡充(地表に溜めて流す)

計画的に街なか 都市水害を安く,早くなくすために
下水や水路、川などに流れ込むまでに、
公共公益敷地や企業用地、各戸のオンサイト計画による、
一時貯留、流出抑制事業を行うこと。
現地貯留・浸透、雨水利用・水循環、環境ビオトープなど

洪水を計画的に抑制する

治水施設は、流すか。溜めるか(溜めて絞って流す)

	流す排水施設Q m ³ /s	貯留施設 V m ³
規模	大規模・集中、地下	小規模・分散、施設簡単
コスト	大、ゼネコン	小、地域建設、経済的
効果	供用が遅い、雇用小	速効性,雇用大,管理が容易
豪雨	超過洪水・余裕が小	被害は比較的小さい

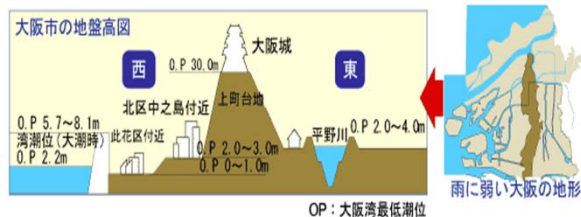
*大阪府建設技術発表会論文集（1985昭和60）年から作成

寝屋工モデル(敷地面積:3500m²) 流出抑制施設の諸元

主な流出抑制施設は、敷地内貯留、貯留池、床下貯留、透水性アスファルトです。集水面積:2900m²、貯留可能容量約1000m³、貯留可能水深:0.60m、抑制流出率:62.9mm/hの既往最大降雨パターンピーク流量の97.4% (0.094m³/s) カット。1 m³コスト1600万円。

雨に弱い大阪の地形 地盤高図から見る

大阪市、上街台地を除いて海拔ゼロ・低平地



大阪湾潮位OP2.2、満潮位(大潮時) OP5.7～8.1m
此花区付近OP-0～1.0m、北区中之島付近OP2.0～3.0m
寝屋川流域もその大部分がOP2.0～4.0m低平地の内水域

人間の災害に対する基本的反応 歴史的な段階について

動物の原始的段階⇒びっくりする、恐れる、逃げる、祈る。
封建時代的段階⇒あきらめる、そらせる。
現代 ⇒ 逆らう、押し込める。抵抗力の強い地域構造がつくられた。
将来 ⇒ 無害化する、災害を無害化するだけでなく、災害の起こすエネルギーを利用する。

☆災害対策の方向 大型構造・ハードから予防的分散対策

現 況 将来の方向
復 旧 主 義 ⇒ 予 防 主 義
ハードな構造物主義 ⇒ ソフトな防災性増加主義
固 定 化 ⇒ 可 動 化
広域・集中化 ⇒ 地域分散化
巨 大 化 ⇒ 小 型 化

治水施設別の貯水量など1m3当り工事費の比較

小規模・地域分散化の安価な対策と大規模地下の高額コスト

雨水貯留モデル	約1.5万円/m3	自然に下水道にポンプ不要
個人住宅地	1.0万円～1.5万円	3～4m3、貯留浸透
寝屋川治水緑地	3.2万円/m3	平常はスポーツ広場等
流域地下調節池	24.2万円/m3	地表施設の3倍も高い
流域地表調節池	7.4～8.0万円/m3	地下道活用、八尾空港広場
地下暫定調節池	約24万円/m3	地下河川の暫定利用
下水雨水管*	約60万円/m3	東大阪市の浸水対策

寝屋川治水緑地約4.1億円/m3/秒、地下河川：約8.3億円/m3/秒

* 国が2006年9月紹介している「安全性が大きく改善された浸水対策」

雨水貯留施設の各地の種類

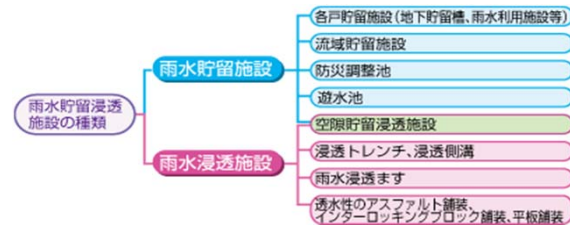
雨水貯留型

◆オフサイト貯留；●多目的遊水地〔運動公園、駐車場〕●治水緑地●遊水地〔田畑等〕●大開発の調節地〔大規模開発〕●溜池改良●下水貯留・増補管〔道路地下〕●滞水地〔公園地下〕等
◆オンサイト貯留；●公園貯留●校庭貯留●広場貯留〔公共施設、企業用地内〕●各戸●棟間貯留〔低床花壇、貯留槽、中高層団地、企業敷地〕●屋根上貯留〔中高層団地、学校、公共施設、民間ビル等〕

雨水浸透型；雨水のオフサイト、オンサイト貯留に浸透機能を付加(但し地盤が安全な地域に限定)歩道等透水性舗装

雨水貯留利用；公共施設や蔵前国技館、京セラドーム(水使用の約20%を賄う)等、環境自治体施策

都市域での流域貯留には、官住民企業の協働で 街なか現地貯留浸透施設の種類



☆発想の転換で現地に貯め込み しぼって下水道・水路へ

その貯留方法は、なるべく降った雨を市街地の公共公益施設や企業敷地の地表面に簡単な小規模の雨水貯留を地域に。
街なか下水道や水路を溢れさせない発想の転換・現地貯留が、行政・住民・地域貢献の企業事業者の協働が求められる。

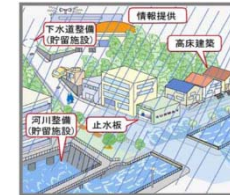
大都市大阪の街なか豪雨対策にも役立つ

国の関係事業と連携した雨水の貯留浸透で
より一層効率的に浸水被害の最小化

東京世田谷区、豪雨対策の新たなイメージ

床上浸水などの防止、生命安全対策

止水版、高床建築、貯留施設 情報提供 避難場所に避難上階に避難



オンサイト貯留などを



低平地・海拔ゼロm地域

☆豪雨浸水予測を踏まえ、住民参加による防災地域計画！
☆地表面、安くて早い、雇用増やし経済的な方向に転換を！

信太山丘陵に里山自然公園を

信太の森FANクラブ代表 花田 茂義

1, 信太山丘陵とは

和泉市の北部から堺市の北西部に位置し、海拔40m～80mの大阪層群を含むなだらかな丘陵(台地)が約300haにわたって広がっている。その大部分を戦前は陸軍、戦後は陸上自衛隊が演習場として管理してきた。そのため、乱開発の一定の歯止めとなり、演習場内外の耕作地の存在も関わって大阪近郊にありながら生物多様性に富む貴重な自然環境を残してきた。また、古代より、弥生住居跡、国史跡和泉黄金塚古墳、須恵器窯跡群など古くから人々の暮らしの跡が残り、一帯は信太の森として和歌をはじめとする文学や伝説、芸能を通して人々に知られている。

大阪のホットスポット

信太山丘陵は、点在する小さな湿地と草原に特色があり、藤井伸二氏の報告(2010「関西自然保護機構機関誌59号」)では、環境庁RDB掲載種26種、近畿RDB掲載種49種、大阪府RDB掲載種58種を挙げ、大阪府における絶滅危惧植物のホットスポット(生物多様性が豊かだが絶滅の危機に瀕しているところ)の一つであることが確かめられたと述べている。また、レッドデータブック近畿研究会編では大阪府の保護上重要な地域として9ヶ所を挙げ、その一つが信太山丘陵となっている。さらに、「近畿圏の都市環境インフラのグランドデザイン」(国土交通省・平成18年)でも近畿圏における「保全等検討すべき地域」の26ヶ所の一つに挙げている。

2, 和泉市市有地化と大型スポーツ施設建設計画

平成9年頃より、防衛庁(当時)は演習場内の介在民有地の解消及び公共施設用地の確保を図るため和泉市へ提案した。介在民有地をいったん和泉市が買い取り、後に演習場の一部と交換するというものであった。

和泉市は、地権者と交渉し、平成16年63名の地権者から9.2haの土地を和泉市土地開発公社が約17億円を要して買い取り、防衛庁と等価交換した。交換した土地は(右図)、鶴山台4丁目に隣接し面積は実測で16haであった。

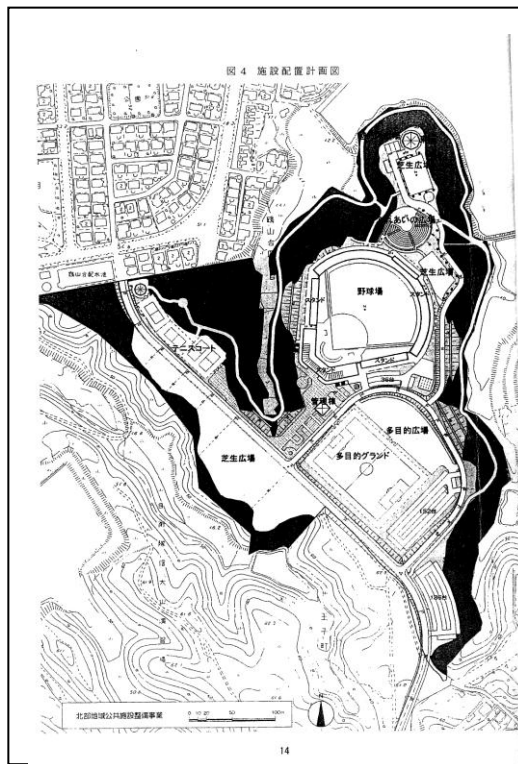
交換地の活用計画 スポーツレクリエーション施設

① 市道信太5号線の拡幅整備

② スポーツレクリエーション施設

(野球場、テニスコート、多目的グラウンド、自然散策路、駐車場など)

*補助メニュー(防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第8条)



民生安定施設の助成 公園 用地費 1 / 2 施設整備費 2 / 3

交換地の活用計画は例示的ものとして示されたが、事業計画は平成 17 年から 5 年間和泉市財政再建計画により凍結されてきた。

3, 対象地の状況

和泉市が国と交換した約 16ha の土地は、丘陵の北西部で、住宅公団の開発した鶴山台(団地)から蔭涼寺にいたる信太 5 号線の両側であり、惣ヶ池や大野池に隣接している。信太山丘陵の特徴をよく備え、湧水による涵養湿地や低湿地、草原、アカマツやコナラの雑木林などが見られる。中でも、点在する貧栄養湿地(湧水涵養湿地)は信太山丘陵を代表する貴重な湿地であり、トキソウ、サギソウが民家のすぐ近くで自生している。コバナノワレモコウの群落やモウセンゴケ、コモウセンゴケ、イシモチソウ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなど食虫植物も見られる。丘陵部の草原を中心に、ウスバカマキリ、クルマバタ、セグロイナゴなどが観察され、野鳥では隣接する溜め池を含めるとミサゴ、ノスリなどの猛禽類も棲息し、今年オオタカは隣接の林で営巣を行った。われわれの調査では、この対象地域の中で、大阪 RDB で植物 11 種、昆虫 3 種、野鳥 8 種、両生類 1 種、哺乳類 1 種、淡水魚 3 種を数えている。

4, 里山自然公園構想 コンクリートの建物より自然環境の保全と活用を

A, 立地条件・周辺地域とネットワーク

- ①大阪市立信太山青少年野外活動センター
- ②「大阪みどりのトラスト協会」が管理する惣ヶ池湿地
- ③国史跡「和泉黄金塚古墳」、信太の森の鏡池史跡公園、シリブカガシの森

B, 里山自然公園の概要 (参照: みんなの智慧と力でつくろう信太山里山自然公園)

- ①里山としての信太山の自然、信太山湿地・草原の保全と活用
- ②信太山の自然や文化財の学習、教育、研究、憩いの基地
- ③大阪の歴史的風土に立脚した新しい文化創造の基地

5, 和泉市の状況

09 年 6 月 現市長「信太山に大型施設は似合わない」と公開質問状に回答

‘10 年 9 月:「和泉再生プラン」・凍結解除 平成 25 年～29 年に事業化

市長:「平成 23 年・24 年にかけて、計画を検討する。自然保護の重要性は分かっている。今までの経緯(スポーツ施設建設)もあり、100%自然保護とはいかない、市民の要望もふまえながら保全のことも十分検討したい。」

6, 信太山に里山自然公園を求める連絡会の結成 2010.12.5

在阪 13 団体(大阪自然環境保全協会、野鳥の会大阪、泉北教職員組合など)と個人で連絡会を結成、里山自然公園を求めて活動を開始。

多方面からのご支援を訴えます! ‘11 年度が山場です!

問い合わせ: 信太の森 FAN クラブ 〒594-0013 和泉市鶴山台 2-5-14 花田茂義方 ☎0725-44-8404

email: hanaizm@ares.eonet.ne.jp

<http://www.eonet.ne.jp/~hanaizm/>

公害地域の今を伝える スタディツアーの取り組み

2011. 1. 29 環境・公害デー
(財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
眞鍋 麻衣子

なぜ、公害を伝えるスタディツアー？

- 2009年から3ヶ年 夏に1地域
- 環境教育の大学教授、学生、NPO職員、
現役教員らと共に現地でヒアリングし、
現地への提案を行う
- 公害の事実は知っている、公害のその後は知
らない。全国の動きを知るために。

→今、どうなっているか、何が学べるか

公害はまだ終わっていない

- かつて公害に苦しんだ地域の今？

住民・行政・企業によるパートナーシップ
未だ病気と闘っている方々...

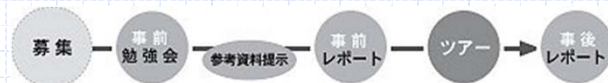
それらは一般的にあまり知られていない

「公害地域の今を伝えるスタディツアー」

- 再生はどこまで進んでいるのか
 - ・ 残された課題は何か
 - ・ 現地で体験を通して確かめる試み
 - ・ ワークショップを通じ参加型で学ぶ
 - ・ 現地で学んだことを発信者として伝える。

ツアー全体の流れ

- 事前の勉強会を行ない、レポートを提出
事前勉強会を受けての、分かったことや
疑問を各自まとめる
- ツアー当日
- 事後レポートの提出



スタディツアーの様子

- 新潟(水俣病の地)を訪ねて 2010年夏

スケジュール

	午前	午後	夜
1日目 8/5(木)	バスで移動	現地に到着 新潟水俣病の概要を聞く	グループ分け
2日目 8/6(金)	グループに分かれてヒアリング 現地見学		全体でのヒアリング
3日目 8/7(土)	探鳥会 グループに分かれてヒアリング 現地見学	ヒアリング結果のまとめ提案作業 内部発表会	ヒアリング結果のまとめ 提案作業
4日目 8/8(日)	発表・交流会	解散	
5日目 8/9(月)	昭和電工ヒアリング		



患者さんや支援者、医師に弁護士に行政の方々...
色んな立場の方にヒアリング
現場も実際に見て... 班ごとに意見をまとめます



参加者共通の思い

伝えてくれた人達の思いに、
この地に、この事実、自分
達は、何ができるのだろうか



最終日…全体発表会



各班の発表



提案内容(一部分)

A班	私たち自身も伝えたい(新聞への投稿など)、そうすることで患者さんにも、伝えることは意味があるんだと背中を押したい
B班	立場の違う人達が色々な形で患者さんへの支援を行なっている。今後、患者さんが生きやすいシステムをどう作っていくのが課題として挙げられる
C班	8月8日を私達の「新潟水俣病の日」にし、この日はまわりの人に伝えるなど、出来ることをしたい
D班	新潟水俣病の光と影を考え、伝えていくためには自分には何が出来るのか、各自「宣言」

参加者の感想①(一部抜粋)



(清水 万由子)

今年の新潟への旅は、「学ぶ」ことの意味を考えさせられた旅でした。新潟水俣病資料館の建設の経緯を伺った時、よそ者には見えない感情が渦巻いているような印象を持ちました。

お話を聞いていても、腑に落ちないことがいくつかありました。説明を聞いても、この地域にとって水俣病とはそういうものだったと言われても、そうさせる人間の感情がどんなものなのか、想像を超えているような気がしました。宇井純さんの「自分は、当事者のつもりでやっている」という言葉が心に残っています。時間も空間も隔てた当事者の心を、自分の心として表現することで、自分を動かし、他人を動かす。それが今回気づかされた「学ぶ」ことの意味だったと思います。

参加者の感想②(一部抜粋)

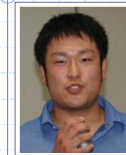


(中林 真理子)

新潟水俣病の原因が鹿瀬工場から排出された水銀が原因であることがわかってから、鹿瀬の人々は、他の地域から責められたり、非難され、次第に他の地域とはかわからず、現在そこにすむ人々は、深い傷を抱えている。

新潟水俣病公害問題という中には、様々な人が関わっていて、特に、被害を受けた人々の思いや、鹿瀬のように責められ非難され心と人間関係を閉ざしてしまった人々、また、共闘会議やFM事業のように積極的に問題にかかわろうとしている方々、いろんな思いが交錯しているのだなとわかりました。知ることとは、その方々の痛みや苦しみを聞き共感することなのかなと感じました。

参加者の感想③(一部抜粋)



(畑中 健志)

新潟水俣病スタディツアーに参加して、他の人にも知ってもらいたいと思うようになった。家族や友達、また、将来の夢である教師になったときに、生徒に伝えられるようにさらに、認識を深めていけたらと思う。また、私からの提案として、こういったツアーをもっと呼びかけ、新潟水俣病への関心をもってもらいたい。

というのも、実際にフィールドに入り、話を聞くことを通して、肌で感じることで学ぶことができると考えるからである。また、新潟水俣病を次世代へと伝えていける人の育成という点にも力を注いで欲しい。そのことは地域への関心を高めることができ、また若い人にも新潟水俣病について考えてほしいと考えるからである。

結果・効果 参加者の場合

- 現場を見て聞いて感じて「社会」とつながる
- 話を聞いたことで責任が発生
 - 主体性の獲得(伝える主体として)
- コミュニケーション能力の向上
 - 対話の重要性を自覚
 - (ヒアリング対象者との会話、参加者間での討論)
- これからの生き方を考えるきっかけづくり
 - 「私がこれから何をすべきか」と、
「社会がこれからどうあるべきか」を
つなげて考える・学ぶ

結果・効果 受け入れした立場の場合

- 語るきっかけづくり
 - ツアー前に参加者は勉強会で事実関係を確認
 - 被害者、弁護士、教師、支援者、企業、行政など
 - 様々な立場の人にヒアリングを依頼
 - 「聞く態度がすばらしい」
 - 参加者のことを信頼→話せない話語る、初めての語り部
- 語る意義を知る
 - 語ったことへの反応(感想、提案)を見せる
- 参加型学習を体験
- 外部の方々へ伝える言葉を獲得

これからの取組

- 大気汚染地域のスタディツアー(大阪)
- ツアーの3年間の報告会と本の出版
- あたらしい公害教育を作る
 - 当事者を増やす、類似の取組を増やす
 - 公害を学ぶ意義を発信する
→悲惨な過去を知るだけではなく
変えていく、発信者へ

■おわり■

ありがとうございました



以下の報文は、科学技術社会論学会第八回年次研究大会（2009. 11. 14-15 早稲田大学）予稿集 pp. 134-137 を引用・改変したものである。

高校生が川の水質を調査する意義 -河川に関する環境教育教材を使用して-

平井俊男（大阪環境防災ネットワーク、大阪府立港高校）

1. はじめに

高校生に理科に関する社会的な課題について具体的に考えさせる、またそのような取り組みに参加させるにはどうすればよいのか。

ここでは高校生を将来の市民ととらえ、科学・技術と関係する社会的な課題に関与できる能力を育成する取り組みについて報告する。具体的には、河川の水質測定に関する教材の実践報告と高校生が自主的に水質調査をする意義について考察する。

2. 教育実践

2.1 大阪府立柏原東高校での実践¹⁾

柏原東高校は大阪府と奈良県の府県境にある。理科系選択コースがなく、卒業生の進路は就職と専門学校などを含む進学がほぼ半々の、多様な生徒が通う創立 30 年あまりの歴史の新しい普通科高校である。その学校のすぐ南を、奈良盆地の水を集めて柏原市を横切り大阪湾へ注ぐ 1 級河川の大和川が流れている。理科クラブの生徒が中心となって、2003 年 9 月から 2009 年 1 月までこの川の水質調査を実施した。調査のきっかけは、この川の水質が全国ワーストトップクラスを維持し続けていることに生徒が興味を持ったからである。

測定サイトの芝山橋上からひもつきバケツで水を採り、気温・水温を測り、その場で簡易水質検査試験紙アクアチェック²⁾により、総硬度、総アルカリ度、各種窒素濃度、pH などについて比色測定する。

研究成果は、校内の文化祭での発表、常設展示、学校HPでの公開、そして生徒が日韓合同陸水シンポジウムや日本水環境学会でのポスター発表、日本化学会近畿支部主催の高等学校・中学校化学研究発表会などで口頭発表してきた。

生徒は年間を通して原則毎週、大和川の水質についての調査を実施した。このことは、国土交通省大和川河川事務所がこの流域を 3 ヶ月毎に実施する調査を補うだけでなく、基礎データを蓄積するという視点からも大変価値がある。将来専門家が必要とするかもしれない時系列のデータは、今、ここで継続して調査することが大切である。

生徒はこの事実を学会発表等で身にしみて感じ、自信を強めた。

2.2 大阪府立港高校での実践

港高校は大阪湾に面する大阪市港区にある。卒業生の進路は専門学校などを含む進学がほとんどの、創立 100 年近い歴史のある普通科高校である。

2009 年 4 月に著者が赴任して河川水の水質調査をしないかと募ると、複数の生徒が名乗りを上げた。手始めに、夏期休業中の大潮の日に朝から夕方まで、学校の近くにある安治川（淀川から分かれ、大阪市内を横切り大阪湾へ注ぐ 1 級河川）において、河川の水質に及ぼす海水

の影響を調べた。調査方法は柏原東高校とほぼ同じである。河川の水質調査は、定点水質モニターとしてパソコン同好会の理科班が中心となって、現在も継続している。

研究成果は、校内で常設展示、学校HPでの公開、そして、生徒が日本化学会近畿支部主催の高等学校・中学校化学研究発表会³⁾などで口頭発表し、また国際学会4S(The Society for Social Studies of Science:2010.8.25-26 東京大学)の平井の発表⁴⁾の際に英語で実践報告した。

3. 考察

高校においては、社会と関連させた視点からも理科教育を実施することになっている。

例えば、現行の「理科総合A」の教科書⁵⁾をみると、「序章 自然の探求」には物質とその利用、エネルギーとその利用という項目があり、「第7章 科学・技術と人間生活」には課題研究の例として放射線、資源リサイクルが挙げられている。

しかし、教科書にあるから必ず教師が授業で扱うとは限らない。学校5日制の実施によって少なくなった授業時間内で、進路保障を視野にいれて効率よく授業を進めるとき、入学試験に出題されそうもない内容は当然省略されてしまうことが多い。

そんななかで、理科という教科の枠組み(教育課程上の必修という制約があり、かつ生徒は教師により評価される)を離れて、環境問題として話題となる川の汚れに興味を持ち、生徒が参加自由の自主的活動として水質調査を行い、そのデータを分析・検討し、研究成果を発表することは、将来科学・技術と関係する社会的な課題に関与できる市民を育成することにつながる価値ある取り組みである。

このことは、小倉が「近年、水質の簡易分析法が普及し、市民により河川などの水質調査が活発に行われるようになり、水環境の保全や修復を考える意識と関心が高まっている。このような調査を継続して行うことにより、水の汚れの実態や原因などを明らかにすることができる。そして良好な水環境を次世代を担う子どもたちへ引き継ぐための対策を考えるきっかけとなることが期待される。市民による水質の調査は安心・安全な飲み水を確保するための水源となる河川水や地下水の水質を監視することにもつながり、有意義なことである。」⁶⁾と述べていることと一致する。

文 献

- 1) 平井俊男 2007:「大和川を題材とした理科クラブの活動を通した科学教育—大阪地区の高等学校(公立校)の実践報告—」『化学と教育』55(10), 490-491
- 2) 平井俊男 2009:「川や池の水を調べてみよう」, 明仁憲一ほか:『環境防災教育実践教材集 いのちはぐくむ地球とともに[第3版]』, 24-27
- 3) <http://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/j-hapyoprog10.pdf> (10-12-28 現在)
- 4) http://convention2.allacademic.com/one/ssss/4s10/index.php?click_key=1&cmd=Multi+Search+View+Program+Load+Box+To+View&program_box_id=85884&PHPSESSID=512b90fa480da53078650e5f507fec94 (10-12-28 現在)
- 5) 佐藤文隆ほか編 2009:『新版理科総合A』実教出版, 2-5
- 6) 小倉紀雄 2009:「水質調査の基礎概論」『化学と教育』57(6), 264-267

里山と人の暮らしを考える ～2010年化学部夏期合宿での取り組み

池田分会 澤田 史郎

【1】はじめに

今年度、化学部夏期合宿を能勢の豊中青少年野外活動センターで「里山」をテーマにおこなった。里山と人の暮らしをつなげる「物質」を考えようということで設定したテーマであったが、里山の現状や現代社会といった問題を掘り下げる機会となった。取り組みを報告し、今回の取り組みについての評価や今後の発展方向等について議論で深めていただきたい。

【2】10年度池田高校化学部夏期合宿要項

目的 里山が人の暮らしの中でどのような役割を果たしてきたかということを学ぶ。
実験や実習を企画し、実行する中で、化学的な考え方を深め、身につける。
自然観察や講義を通じて里山の自然や環境について学ぶ。
2学期以降の化学部の課題を考える、承風祭等に向けて活動の計画討議を行う。

日時 2010年7月21日（水）～7月23日（金）

行き先 能勢町宿野「豊中市立少年自然の家」及びその周辺の里山

宿泊 豊能郡能勢町宿野151-68
豊中市立少年自然の家
072-734-1719

実習課題

- ① 里山観察と講義（瑠璃溪資料館・南丹市園部町）
奥村 覺 先生 瑠璃溪資料館館長
- ② 和紙について（講演）
田口 梅屋 先生 池田高校書道科
- ③ 竹炭製作実習 豊中野外活動センター
- ④ センター内の植物による草木染め
- ⑤ バームクーヘン作り
- ⑥ 星空観察

【3】実施内容

I K E M I S T R Y 創刊号 参照

【4】成果と課題

(1) 里山に対する認識の深まり

里山の多様性について 植物、動物、暮らし

マツタケが採れる山とは

クヌギ、コナラはなぜ里山の主なのか

山や森が人々の暮らしの中で維持されてきたこと

薪炭、和紙、染色、

(2) 里山と暮らし 化学の観点から

炭をつくる

有機化合物の性質

エネルギー問題を考える視点

草木染め

鉄媒染によるタンニン染め ものづくりのおもしろさ

文化としての視点 お歯黒や柿渋

和紙の化学と里山

世界水準の材料文化として

有機化合物

植物繊維と生物の体の仕組み

(3) 里山の現状について

山を維持する困難さ

生活環境の変化

杉などの植林による変化

林業、産業構造の問題

政治の課題

(4) 教育課題としての里山

何を問題としてとらえさせるのか。指導の視点

里山の持つ教育力

継続した取り組みとフィールドの確保

大学で地球環境講座を担当して ～文科系大学生への地球環境問題講義 試行錯誤～

・講座名:「地球環境科学」

・授業の目的:

地球環境や地域の環境問題に関心も知識もほとんどなかった学生が、問題意識を持ち、環境を守る実践するようになること。

・受講生の専門分野:

経済、流通、国際コミュニケーション等(文科系)

・1講受講生数:約100名～約280名

2011.1.29 公害環境デー話題提供 阪南大学非常勤講師 中村壽子

地球環境科学を選択した学生のアンケート2010年前期

	よく読んだ	ある程度読んだ	あまり読まなかった	全く読まなかった	
履修届提出前にシラバスを読んだか	23 17%	60 45%	34 25%	17 13%	
受講した主な理由	興味があった 39 29%	時間が空いていた 51 38%	友達が受講する 17 13%	単位がとりやすい 4 3%	卒業要件を充たす 22 17%
授業の難易度	非常に難しい 28 21%	少し難しい 86 65%	やや簡単 16 12%	非常に簡単 3 2%	
履修して良かったか	そう思う 26 20%	どちらかといえばそう思う 69 53%	そうは思わない 24 19%	全くそうは思わない 10 8%	

講義内容(2010年)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 地球環境とは(学習の目的) | 1 学習の目的、食と環境 |
| 2 気象変動 | 2 食と環境つづき |
| 3 人間活動が気象に及ぼす影響 | 3 衣料と環境 |
| 4 地球環境の成り立ち | 4 住生活環境 |
| 5 生命と地球環境 | 5 水と環境 |
| 6 大気環境と生物 | 6 生活リズムと環境 |
| 7 水環境と生物 | 7 土壌汚染 |
| 8 住環境と生物 | 8 大気汚染 |
| 9 食環境と生物 | 9 有害化学物質汚染 |
| 10 生物相互関係(共存・競争) | 10 環境ホルモン汚染 |
| 11 人間による地球の質的汚染
1 化学物質 | 11 医薬品、化粧品等の汚染 |
| 12 人間による地球の質的汚染
2 放射性物質 | 12 放射性物質汚染 |
| 13 温暖化防止の取り組み | 13 大阪域の環境 アスベスト |
| 14 紛争・戦争と地球環境 | 14 世界の環境 環境保全運動(予定) |

学生の認識に関する特徴と説明の工夫

- 一般に、グラフや表より、映像・カラーパワーポイントが好き。自然科学書籍の読書とは無縁の学生が多い。
→映像の導入、データはパワーポイントに加工。
- 気象変動・温暖化を含む世界的に発生している危機的現象の話には納得するが、日常と結びつかない。
→日常生活の多数の事象を具体的に紹介する。
- 実践につながるアイデアが浮かびにくい。「一人一人がこつこつと努力すべき」内容としては、多くが節電、マイバック、アイドリングストップ等。
→ヒントや紹介事例を多く見せて、様々な政策ならびに実践の提案を引き出す。

政策と実践の提案(前スライド 3に関して)

1. 身近な事象・知識・認識に関する講師からの質問(アンケート)
2. 身近な問題の調査
 - 事象を確認して、問題点を再確認する。
 - 今後実践すべきことを想像する。
3. 現実的な政策提案
 - 問題解決のために何が必要か考える。
 - 誰がどんな解決策を実行するかを考える。
 - その解決策を表現する。

政策と実践の提案 具体例

- 講師からの質問(アンケート)
 - ①「自分の生活」「トンボの生活」に絶対必要なもの
自分:上位10項目中、お金、衣服、電気等(=人独自)5項、友人(=社会生活を営む証拠)1項
→生物の基本的営み(採餌、生殖等)以外の環境
 - ②O-157食中毒をおこした成型肉を知っているか
知らないが過半数。店員も親も情報を与えない。
→グローバル化による新しい病原菌感染の可能性
 - ③薬の説明書をしっかり読んでいるか
読まないことあり、読まない、合わせて70%、
→医薬品による水環境汚染と耐性菌出現、副作用

O-157食中毒をおこした成型肉を知っているか

質問項目	数値:%					
	2009(事件発生直後)			2010(発生1年後)		
	yes	no	?*	yes	no	?*
外食チェーン、「ペッパーランチ」や「ステーキのどん」での成型肉ステーキ由来食中毒問題を新聞やテレビで知っている。気をつけようと思った。	48	52		61	39	
外食・家庭を問わず成型肉のステーキを食べたことがある。	29	22	49	47	10	42
肉類の安全な食べ方について先生や家族から聞いたことがある。	50	50		46	54	
備考1)*肉は食べたが成型肉か否か不明。						

政策と実践の提案 具体例

- 調査:(家庭にある商品の表示を筆写、商品を理解)
 - ①1食分の食品添加物全部を書き、その成分を調べる。
→大量生産、大量廃棄の流通システムは添加物増加と結びつく。
 - ②家庭にある「農薬」の表示項目、即ち、有効成分、対象、使用・廃棄時の注意を書き写す。
→農薬中毒・化学物質過敏症は都市住民にもある。
農薬の環境ホルモン作用、非農業用が規制なし。
 - ③使用中の洗剤の成分と使用上の注意を書き写す。
→合理的な使用量と水系負荷、不純物・添加物による汚染、水生生物への影響等。

②家庭にある「農薬」の表示項目、即ち、有効成分、対象、使用・廃棄時の注意を書き写す。

- HFC-152 a使用(火に向けて噴射し火傷をおったとニュースになった製品。代替フロン 温暖化に影響 2008年から排出抑制)
- 注意書き表示が小さすぎる。重要事項を消費者に伝達するにあたり問題あり。
- アミドフルメト:不適切な使用で視覚障害、ペットの生殖機能低下のおそれ(別名 トリフルオロメタンスルホンサンアミドフッ素化合物)
- アセフェート(殺虫剤 有機リン系):加水分解すればメタミドホスになる。
- パラジクロロベンゼン(殺虫剤 有機塩素系):頭痛・めまいの副作用、発がん性、催奇性、(ADI 0.07mg/kg/日)

政策と実践の提案 具体例

• 政策提案 例

- ①京都議定書の目標を達成するため、日本における二酸化炭素削減対策の制度や法律等を考え、提案する。
- ②処分地不足、不法投棄による汚染、焼却によるダイオキシン発生等の問題軽減にむけて、家庭のごみ減量、産業廃棄物削減策を考える。(3R 5R)
- ③近年、気象変動により激化した「ゲリラ豪雨」による、都市の内水氾濫防止・被害防止・被害者対策を考える。(「首都水没」(NHKテレビ)鑑賞後)

政策と実践の提案 具体例 ①
気象変動の防止に役立つ法律と制度

①二酸化炭素削減対策の制度・法律等を考え、提案する(2009. 6)

地球環境の悪化が、全ての生物と人間の生存を脅かしつつあることを大気、水、エネルギー総合的に解説、化石エネルギー多量消費の転換が必要と解説し、当面の対策、将来を見据えて対策を提案する。

○報奨・助成 いわゆる「アメ」

●罰則・罰金 いわゆる「鞭」

△制度・政策 いわゆる「ルールを敷くこと」

①自動車対策

●走行に応じた税・道路税、アイドリング罰則、パーキング値上げ、保有台数制限、利用制限、旧来の車に高額な税、ガソリン車廃止

○電気自動車・ソーラーカー等の技術開発・購入に補助、自動車を持たない家庭への給付、公共交通料金値下げ、公共交通利用券配布、公共交通企業へ援助、全国公共交通整備

△カーシェアリング制度導入、車侵入禁止区域を広げる。(cf スイス チェルマット事例紹介)

②電気供給改革

- クーラー温度制限、電力使用量に制限を設け、違反に罰金
- 地域発電・地域共有電力に補助、太陽光発電・風力発電設置補助、ソーラーパネル無料設置、
電気が不要な製品開発(cf 冷蔵庫紹介)
公共施設・企業の屋根へ太陽光発電設置
(cf 大阪市議会での清水ただし議員質問と答弁紹介、cf 市民共同発電 HP紹介)

③消費生活改革

- スーパー・コンビニニール袋禁止、自販機を減らす、タバコ等有害なものに高率な税、水道等電力利用サービスの使用量制限、消費税廃止、ポイ捨て罰金、夜中のテレビ放映禁止
- ごみ分別、ゴミ袋の工夫(マーク入り等)、マイ箸奨励、リターナブル容器(ビン)奨励
- △ペットボトルデポジット制度、温暖化ガス排出にかかわる消費(電気含む)に逡増性

④公共事業、企業・自治体対策

- 環境税、ハコモノ削減、企業の二酸化炭素排出削減義務と違反企業への罰金
- 企業・自治体等の削減目標達成に賞金、府県単位で削減競争させ削減多いと褒賞金、
- △「環境警察」(違反取締まり・褒賞実施のための組織構築) リサイクルシステム構築(cf ドイツ古着回収備蓄紹介)

⑤CO2吸収源対策

- 森林無許可伐採に罰金
- 植林に補助、農業に助成金、
生物(生態系)保護希少種救出に奨励金

⑥教育

- 不要な物を買わない習慣作り、授業時間短縮
- 小～高校に環境教育時間設定
打ち水の習慣化、
社会人・企業向け講習会・講演会の継続実施

講師からの助言

- 多くの人々の知恵で、多くのよい案が出て、しかも総合的になる。(独裁者的トップの“英断”では偏る)
- 1950年代、手塚治虫さんが鉄腕アトム執筆を始めた頃は、2足歩行のロボットなど夢であった。今、子供でもロボットを組み立てる。科学的事実に基づき、未来をイメージし、変えていくことが大切。
- 受講生の皆さんのアイデアは、決して実現不可能ではない。実現させるには→多くの人々の知恵と力を集める→政治・経済を改革する。手段は千差万別。
- 良いアイデア:若いやわらかい頭脳から(年齢ではなく、先入観や慣習を破る頭)

政策と実践の提案 具体例 ② ごみ減量対策

①罰金、費用徴収:

ポイ捨て、不法投棄罰則強化、一定以上の廃棄物・やまだ使える商品の廃棄は有料化、全ごみ有料化

②報奨金、補助金、給付金、エコポイントなど:

家電の長期間使用、修理回数、製品回収企業、無料修理、修理企業に補助金・報奨金
中古品購入にエコポイント、通話料通減、
デPOSIT制(購入時価格上乗せ、回収時に返金)

③製品開発技術:

5Rが容易な製品や部品、不法投棄でアラーム、
ごみを利用(肥料に 廃車を など)

政策と実践の提案 具体例 ② ごみ減量対策続き

・制度、施設:

廃棄物回収・処理担当者充実(失業者対策、ボランティア)、
回収ボックスの工夫(絵マーク)と対象品・数を増す、
国立のゴミ対策施設、
製造企業に部品保管義務(耐久消費財長期使用)、
発展途上国へ無償提供制度、購入者特定、
多量ごみにつながる製品の廃止・禁止(ポリ袋、割りばし等)

・啓発、その他:

5Rがカッコイイという流行誘導、
販売方法(陳列等)の工夫、フリーマーケット充実、
小～高校生の制服貸与制、国際的な協力態勢、
商品に5Rマーク、廃棄による影響表示

具体例 ③

都市洪水(内水氾濫)防止対策

学習内容:「首都水没」(NHKテレビ)をみて、水害防止・被害防止・被害者対策を考える。

「今後、温暖化の進行で豪雨がさらにひどくなると、利根川の堤防決壊、下水のオーバーフロー(内水氾濫)が起こり、地下街の水没など、東京に甚大な被害が起こるという報告が作成された」

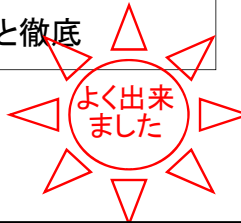


国・府県の危機管理、企業・商店などの危機管理として、なにをすべきか・誰になにを要求するか
(問題点はなにか、何が不足しているか)

学生による提案

- 理念:危機意識の共有 被害受忍範囲の整理
- 基本インフラ:行政機能・都市機能分散化
- インフラ:堤防強化 下水道増設 道路整備 貯水池建設、シェルター設置
- 法律:地下街増設規制 災害対策・被災者支援等各種法律整備
- 広報:避難経路、避難場所の確保と徹底

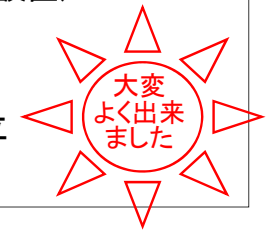
企業、自治体、国土交通省、議員に大いにアピールしよう！



学生による提案 具体性あり

企業、自治体、国土交通省、議員に大いにアピールしよう！

- 大深度地下に巨大排水管(タンク)
- 企業・商店等へ避難訓練義務化と充実
- 緊急時広報設備の整備(ゲリラ豪雨発生で地下街へ緊急放送・警告ランプなど、テレビで避難経路周知、水没道路警告看板速やかな設置)
- 災害救助隊の強化
- 食料・水・衣類備蓄
- 食料・水・衣類無償提供制度確立
- 災害保険の充実



講師による助言

(ふれてほしい根本的な原因と対策)

- 温暖化を防ぐあらゆる対策も同時に進め、豪雨発生を防ぐこと。
- 世界中の国々、地域と協同して対策を講じること。

理解不十分な学生の答え

- 内水はんらんの話を書いて怖くなった。
- 地下で洪水にあったらパニックになると思う。
- 人間の開発に伴う危険増加はしかたがない。
→授業内容と方法、伝達手段等、よりわかりやすい授業の工夫が今後の課題

学生への啓発 教訓と課題

- 丁寧に指導すれば、種々の現実的かつ独創的な意見を引き出すことができる。
- 思考力、表現力等の格差が大きい。理解できない青年達を放置しては、気象変動防止の多数意見の形成は難しい。同じ青年からの働きかけが求められる。
- 青年達は、環境にとりくむ熟年とは、異なった視点をもつことが多い。青年達が独創的に取り組むことを励まし、支援することが必要。
- 多人数相手の一般教養的な講義では限界あり。しかし、「履修してよかった、まあよかった」計73%を信じてたい。



大阪経済大学の「現場主義」教育改革

- 「人間的実学」を現代において具体化
- 2002年 経済学部地域政策学科を新設
- 既設の経済学科を含めて、フィールドワークを大胆に取り入れた体験型学習システムの構築を目指す
 - 現実社会の様々な問題解決の担い手
 - 地域社会や企業社会と積極的にかかわって、地域の人々や企業、行政がどのような問題に直面し、その解決に取り組む姿を体験的に学ぶことで育つ
 - = 教室に座って講義を聞き、学術書を学ぶだけでは不足



体験型学習体系を支えた基礎

- 2004年10月 地域活性化支援センターの開設
 - 経済学部がめざす現場主義教育の実現のため、行政、企業、市民団体(以下、関係団体)、個人と連携して地域社会が直面する問題の解決をはかり、それを通じた実習フィールド確保を目指す
- 2006年12月 ECOまちネットワーク・よどがわ結成
 - 2004年12月～2005年6月 経済団体、商店街振興会、市民運動団体、まちづくりシンクタンク等と取組み課題を協議
 - 自然エネルギーの普及を軸に、地球温暖化防止と地域活性化の両立を図る環境まちづくりを進めることを課題に
 - 2005年11月 「市民共同発電所づくり」実行委員会準備会発足
 - 2006年5月 「ECOまちネットワーク・よどがわ」準備会に
 - 2006年12月 ECOまちネットワーク・よどがわ結成総会
- 大阪よどがわ市民生協、大阪商工会議所新淀川支部、よどがわ保健生協、大阪市民ネットワーク、あおぞら財団、自然環境会議八尾、環境問題の解決に関心を寄せる個人が参加
- 自然エネルギー市民の会、気候ネットワーク、大阪自治体問題研究所等が協力

H18 大阪経済大学現代GP

- 取組みの名称「地域に開かれた体験型環境・まちづくり教育 市民共同発電所づくりとまちづくり産業振興プログラムの創造」
- 課題
 1. 問題解決能力の開発を目指して整備した経済学部体験型実習・演習体系を科目担当者の創意で近隣住民に開放して地域の課題を教育に反映させる
 2. 温暖化防止と地域活性化を結ぶまちづくり産業振興プログラムの創造に学生参加で取り組む
 3. それらを通じて、循環型社会構築に資する地域連携型環境・まちづくり教育システムを構築する

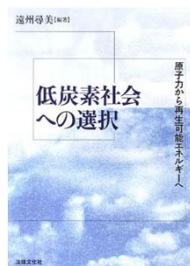
= 「まちづくり産業振興」という自然科学系とは異なる切り口で温暖化防止活動に貢献したい

H18 大阪経済大学現代GP

- 学生参加で取り組む5大プロジェクト
 - ① 市民出資による「よどがわ市民共同発電所」づくり
 - ② 「よどがわアジェンダ2010」「経大アジェンダ2010」の立案・提案
 - ③ 環境・まちづくりコミュニティビジネス「ECOまちビジネス」の創造
 - ④ 「ECOまちビジネス」を支える地域金融システムの検討
 - ⑤ 市民レベルの環境支援国際交流事業の展開
- 人材育成目標：問題解決能力の育成
 - 受動的に知識を学ぶというだけでなく、未経験の事態に直面しても、周囲の人々とコミュニケーションを図り、萎縮することなく前向きに事態打開に取り組もうとする姿勢・能力
- 学習への動機付け
 - 大学の授業を通じて社会に貢献しよう。貢献できる

ゲスト講師によるリレー講義

- 『地域政策オープンカレッジ』
市民開放講座 100名の学生と200名を超える市民が受講
 - 2006年度「地球温暖化対策の最前線」
 - 2007年度「低エネルギー社会の構築と脱化石を目指すエネルギー転換 争点と展望」
 - 2008年度「低炭素社会への道程」



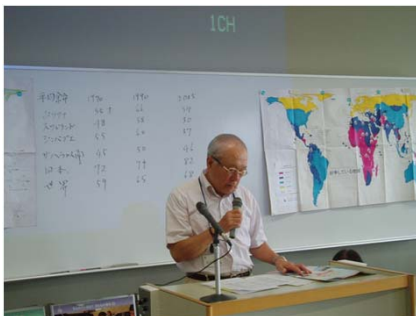
ゲスト講師によるリレー講義

- 『地域生活特殊講義・地域で築く循環型システム：菜の花プロジェクトⅠ』
 - 第3プロジェクト「環境・まちづくりコミュニティビジネス「ECOまちビジネス」の創造」に対応
 - 滋賀県で始まった菜の花プロジェクトをモデルに資源循環型コミュニティの可能性を探る



ゲスト講師によるリレー講義

- 『地域政策特殊講義・国際ボランティア：貧困・環境問題を学ぶ』
 - 第5プロジェクト「市民レベルの環境支援国際交流事業の展開」に対応
 - 緑の地球ネットワーク」「日本ユニセフ協会」「JICA 青年海外協力隊」「ベトナム・タイニン省の地域リハビリテーションを支援する会」「アジア協会アジア友の会」が講師の派遣



視察・見学型の実習プログラム

- 「地域政策基礎実習（済州島短期実習）」



視察・見学型の実習プログラム

- 「海外工場見学」



視察・見学型の実習プログラム

- 「海外実習（ドイツ）」



追体験型実習プログラム

- 『地域生活特殊講義・地域で築く循環型システム：菜の花プロジェクトⅡ』



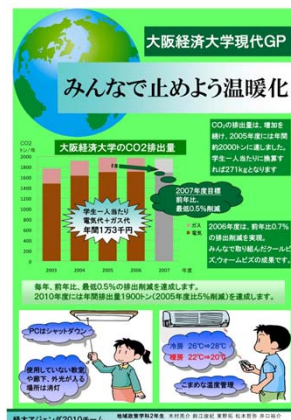
追体験型実習プログラム

- 『地域政策特殊講義・国際ボランティア：国際ボランティアに取組む』
- 国際ボランティア団体の活動に40時間以上従事



基礎調査・開発調査

- 「基礎演習」（藤本高志教授担当）



基礎調査・開発調査

- 「地域調査」（遠州尋美教授担当）

エコ基金 と エコマネー



- ① お客さまの寄付金でエコ基金を作ります。
- ② 基金は自然エネルギーの普及や地域のエコ活動支援、シーオンプラザのエコ化のために使います。
- ③ 寄付をした方は、寄付金額を10%上回る価値の有効期限付きエコマネーがもらえます（例えば、1000円の寄付に対して1100円分のエコマネー）。
- ④ シーオンプラザでの買物額の一部（例えば3～10%）をエコマネーで支払うことができます。

【期待できるメリット】

- ① シーオンプラザは施設のエコ化が容易になり、社会貢献でイメージアップがはかれます。
- ② 寄付をしたお客さまは寄付金以上のエコマネーをもらって帰ります。
- ③ プラザ内のお店は、エコマネーで売上げがアップします（左を見て下さい）。
- ④ 地域はエコなまちとして活性化がはかれます。

学生実行委員会による市民共同発電所づくりの提案

市民共同発電所って何？



せうとグリーンファンド おひさき発電所



駐輪場に市民共同発電所を建てよう



学生実行委員会による菜の花プロジェクトの推進

菜の花利用の循環サイクル



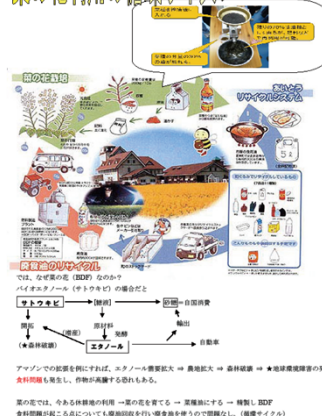
中環の森にて NPO自然環境会議と交流

このプロジェクトを通し、中環の森でも活動しました。菜の花の種まきから、刈り取り作業まで行いました。また、授業では講義をもらい、より理解も深まりました。最終的にBDFは飯飯バスの燃料にもなりました。



学生実行委員会による菜の花プロジェクトの推進

菜の花利用の循環サイクル

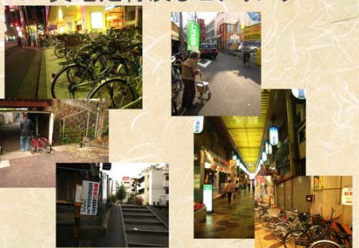


東淀川ESDと協力



東淀川自転車マップづくり

3. 実地走行及びヒアリング



5. 地図に盛り込んだ内容

- ・節度ある自転車利用促進を目指して
- ・自転車利用に活かされるポイント
 - ・なごみスポット(自転車でも利用できるに選んだスポット)
 - ・自転車専用レーン等 の走りやすい道
 - ・違法駐輪問題... 駐輪禁止区域、駐輪場の位置
 - ・危険な場所... 危険ポイント、一言コメント付き。
 - ・走行マナー問題... 自転車の心得(カ条)

5. 地図に盛り込んだ内容



[illegible]

ほっかる回収&グリーン作戦

私たち現代人は、街中で埋め立てられているリサイクル資源をたくさん消費しています。リサイクルの町上野を走らせようと思いませんか。そのとき、御協力いただける方を。

ホッかる回収中！！

食べた後の容器をどうしていますか？
その容器はリサイクルできます！！
食べ終わった後、お近くの**ホッかる回収ボックス**まで、お持ちください。

トイレットペーパーにもなる！！

ホッかる回収ボックス。
ご協力と御礼にありがとうございます。

ホッかる回収にご協力の願います

レッツクリーン活動

燃えるゴミ	50g
燃えないゴミ	250g
カンベペットボトル	60g
たばこ	730本

これは、わたしたち緑学専攻が取り組んでいる環境対策で、2週間毎に1回おこなっているレッツクリーン活動においての、結果です。

みなさん、どう思いますか？

みんなぞキャンパス内をキレイにしませんか？

くわしくは、C棟4階の地域福祉交流センターまで★

☆ボランティア募集中☆

先進自治体・クロス調査・相互評価

日本の環境首都を目指す
熊本県 水俣市

経済学部 地域政策学科3回生 遠州ゼミ
山本 元

視察行程

- ①1日目
水俣病資料館、吉本哲郎さんの講和
村丸ごと生活博物館(大川地区)
水俣市環境対策課
- ②2日目
吉井 元市長の講和

水俣のイメージ

- 水俣病→工業地帯??
- 海→汚い??

「サッポロ工場全貌見」(昭和45年(1970)撮影)
<http://www.sapporo.co.jp/sapporo/hiroshima.html>

水俣のまちづくり

- 環境の範囲とは、自らの生活圏である
- 「ゴミ・水・食べ物」にこだわったまちづくり
- 負の遺産からの価値転換
- 低炭素ではなく、「安心・安全」が第一

先進自治体・クワース調査・相互評価

『環境文化都市』
長野県・飯田市

経済学部 鈴木 誠一 氏

なぜ飯田地域が注目を集めるのか？

飯田市では目指す都市像として、
「人も自然も美しく、輝くまち飯田・環境文化都市」
1. 京都議定書で定められた期間で日本国はCO2を－6%を削減する目標を掲げたのに対し飯田市ではCO2削減－1.0%の目標を掲げた。
2. 全国トップクラスの太陽光パネル普及率、2010年までに太陽光パネルを全世帯の30%に設置する目標を掲げた。
3. 平成15年1月、自治体で日本初のISO14001「自己適合宣言」。

天竜川を中心として奥をアルプスに囲まれた山部、飯田市

37.3160°N
137.7040°E

IIDA CITY

飯田市

南信州広域連合
137.7040°E
37.3160°N

2008.1.1現在

国、都道府県

なぜ飯田地域が注目を集めるのか？

4. 市民出資による太陽光発電事業を市内有限会社が全国で初めて実施
5. 市民出資による太陽光発電事業に対し飯田市が公共施設の屋根を2年間無償貸し出し、及び、すべての発電量を22円/kwhの買い取る契約を結んだこと。
6. 地元企業が中心となり、ISO14001を小規模な事業所でも取り組まうというに作り替えた「南信州いいむす2.1」作った。

等々

GP最終シンポジウム

平成20年度 大阪経済大学 現代GPシンポジウム
環境まちづくりの未来
——活力ある地域社会に向かって——

2009年2月28日(土) 13:00~17:00
大阪経済大学 C館3階 C-31教室

大阪経済大学 地域活性化支援センター
〒535-8523 大阪市東淀川区大曽根2-3-8
TEL: 06-6328-7771 FAX: 06-6328-7772 MAIL: machi@okai.ac.jp
E: COまちネットワーク・よどか

海図のない世界

- 100年に1度の経済危機
- 地球温暖化の深刻化
- グローバル化
- 縮小する社会

問題解決能力の育成

- かつてない危機の時代をどのように切り開いていくのか
- それを担う人材を育てたい
- この人材育成目標は教室では達成できない
 - 学問は、現実存在する事実、人間が過去に積み重ねて来た経験の知識化
 - 未だ経験していないことは、教室や教科書に答えはない
- 答えは実践の中に

学生を現実社会に曝す

- 先進的取組みを重ねている現場を見聞し、現場の当事者から直接学ぶ
- しかし、それだけでは身に付かない
- 地域の人々、地域社会と実際に地域の課題を解決するプロジェクトに、学生参加で取組む
- 現代GP学生実行委員会の成長が、取組みの成果の証

パートナーシップが 私たちの財産

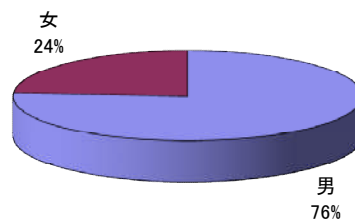
- ❑ 大学だけでは達成できない
- ❑ 学外の多くの方達, 地域社会とのパートナーシップで
- ❑ 築いて来た様々なネットワーク
- ❑ 「ECOまちネットワーク・よどがわ」との絆が最大の財産

若者への公害・環境問題についてのアンケートから

大阪労連青年部・中津川恵子

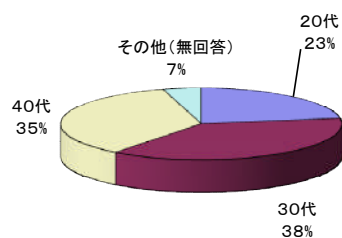
問 1. 性別

①男	男	121	76.1%
②女	女	38	23.9%
不明	無回答	0	0.0%
		回答者	159 人



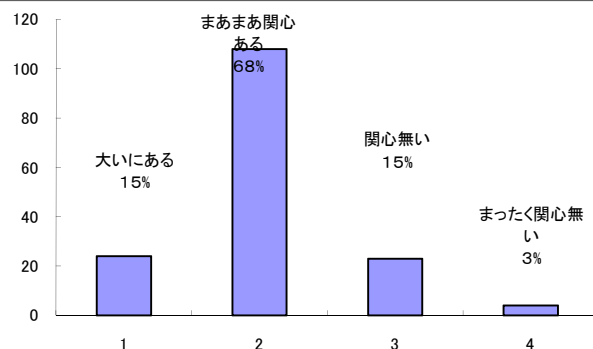
問 2. 年齢

① 20代	36	22.6%
② 30代	60	37.7%
③ 40代	56	35.2%
④ その他	7	4.4%
回答者		159 人



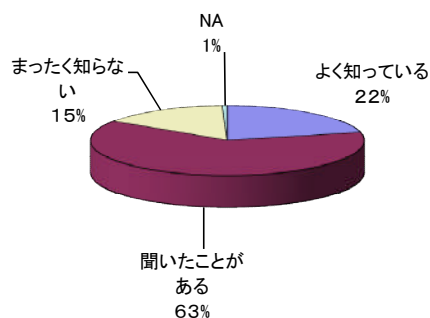
問 3. 関心があるかどうか

①大いにある	24	15.1%
②まあまあ関心ある	108	67.9%
③関心が無い	23	14.5%
④まったく関心がない	4	2.5%
不明		
	回答者	159 人



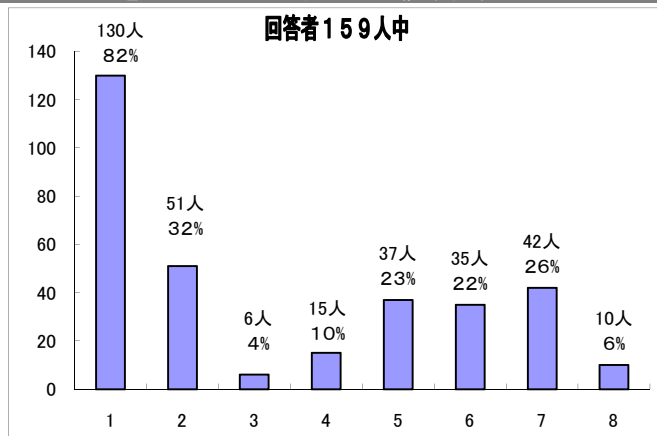
問 4. 大阪のアスベストやぜんそく被害を知っている？

①よく知っている	34	21.4%
②聞いたことがある	100	62.9%
③まったく知らない	24	15.1%
④無回答（NA）	1	0.6%
回答者	159 人	



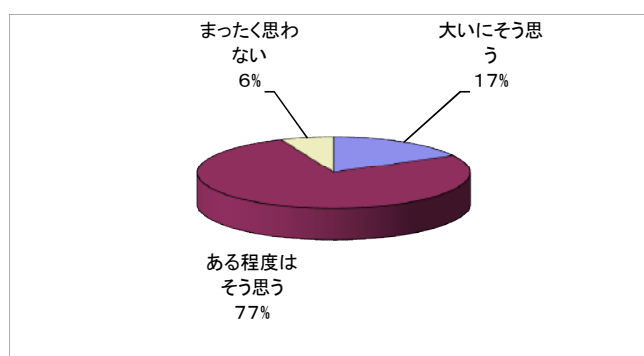
問5. 地球温暖化防止や環境を守るために、普段どんなことを心がけていますか？（複数回答）

①ゴミの分別	130	81.8%
②買い物時にレジ袋をもらわない	51	32.1%
③割り箸を使わずマイ箸使用	6	3.8%
④合成洗剤などはあまり使わない	15	9.4%
⑤衣服で温度調節、空調を使わない	37	23.3%
⑥マイカー通勤をやめる、頻度をへらす	35	22.0%
⑦ゴミの量を減らす	42	26.4%
⑧特に何もしていない	10	6.3%
回答者	159人	



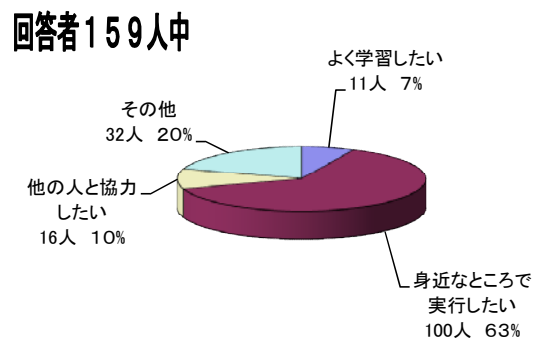
問6. 地球温暖化防止や環境を守るために、自分も役割を果たしたいと思いますか？

①大いにそう思う	27	17.0%
②ある程度はそう思う	122	76.7%
③まったく思わない	10	6.3%
回答者	159人	



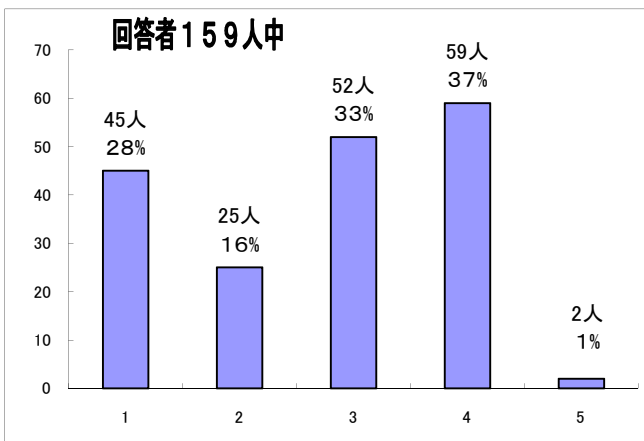
問7. どのようなことで役割を果たしたいと思いますか？（複数回答）

①よく学習したい	11	6.9%
②身近なところで実行したい	100	62.9%
③他の人と協力したい	16	10.1%
④その他・無回答	32	20.1%
回答者	159人	



問8. 『環境・公害問題』といわれて、あなたが興味をもつのは？（複数回答）

①今大阪にどんな公害があるのか	45	28.3%
②温暖化ってどういうこと？	25	15.7%
③日本は何に取り組んでいるの？	52	32.7%
④私たちにできることって？	59	37.1%
⑤その他	2	1.3%
回答者	159人	



問9. 環境や公害問題で、今後取り組んでみたいことや疑問、意見があれば教えてください。

- 喘息を患っているのに、環境や公害等で後々どれだけ被害が大きくなり、症状が悪化するのか、また、どのように取り組んでいけば薬を使用せず、症状を抑え、完治に近づけるのかが知りたい。
- ゴミの分別はしているが、収集車からはどうなっているのか？本当に分別する意味があるのか？
- 植樹などしてみたい。
- 大阪では本当にプラスチックごみは再利用されているのか？
- 排出権取引ってどういうもの？
- 私たちにできることをもっと知りたい
- 環境保護政策や取り組みについて、有効性が疑問視されているものもあるが、実際のところどうなのか、といった研究調査を機会があればしてみたい。
- 環境・公害に興味はあって、何かしたいと思うけど、何をしたらいいかわからない。
- 環境汚染、公害の原因を商売で引き起こす人が許せない。
- 環境重視するため、労働環境が悪くなっている。（例）室温調整のため、寒かったり暑かったりしても自由に温度設定できない。ゴミの分別は細分化されて労働負担が大きい。
- たばこは公害では？
- ゴミの分別などしているが、本当に意味があるのか疑問。
- 自分から取り組みたいことはないが、条令などで決議されれば実行する。
- 京都議定書はどうなっているのか？国としての方が先では。
- 実際に温暖化は起きているのか？
- 海の自然（珊瑚礁など）の全滅を防ぐとくみをしてみたい。
- CO2削減をどう取り組めばいいのか考えたい

集会アピール（案）

私たちは本日、「安全・人間優先のまちへ転換」をメインスローガンに、「いそごう！公害被害者の救済、とめよう！地球の温暖化、まもろう！生物の多様性」をサブスローガンに第39回公害・環境デーを開催しました。私たちは、本集会の名において大阪府民の皆さん、大阪府をはじめとする各自治体、そして、公害・環境問題に関心を持つ全ての団体と個人に次のことを訴えます。

被害者の救済は待ったなしの課題

1970年の「公害国会」から41年が経ち、いま私たちは、新たな「公害」に直面しています。

地域が丸ごとアスベスト災害に見舞われ、中皮腫や石綿肺がん患者が続発している泉南アスベスト問題。日々悪化する病状と向き合うアスベスト被害者にとって「命あるうちに解決を」の願いは痛切です。国は早急に被害者救済の話し合いのテーブルに着くべきです。

寝屋川では、住宅近接地域に突然2つの「廃プラ」処理工場が建てられ、そこから排出されるガスで周辺住民に深刻な健康被害が発生しています。私たちは、大阪府と関係自治体に健康被害の実態とその原因の調査、そして、被害補償と公害を未然に防止する措置を求めるものです。

公害指定地域が解除されて以後も、ぜん息など大気汚染による公害患者は発生し続けています。しかも大阪府全域に広がっています。こうした患者の「せめて医療費だけでも無料にしてください」の声は切実です。未認定の公害患者に対する医療費助成制度の一日も早い実現を大阪府と各自治体、そして、国に強く求めるものです。

今年こそ地球温暖化防止の最終合意を

昨年夏は異常気象が世界中で猛威をふるい、私たちは地球温暖化の防止が緊急の課題となっていることを実感しました。秋に名古屋で開催されたCOP10では「名古屋議定書」「愛知目標」が合意され、12月にメキシコで開催されたCOP16では「カンクン合意」が採択されました。今年はいよいよそれらを具体化し、南アフリカで開催されるCOP17では最終合意を勝ち取るべき重要な年です。

私たちは、①COP17では数値目標も明確で法的拘束力も持った「合意」を勝ち取ること、②「愛知目標」の実践としても、政府は辺野古への米軍施設の移設やTPPへの参加を取りやめること、③国際公約であるCO₂25%削減を実現する「地球温暖化対策基本法」を早期に制定すること、④大阪府と各自治体は地球温暖化防止などに関する方針と計画を作り実行すること、⑤市民レベルでも取り組みや運動を交流し、身近なところから考え行動を起こしていくこと、を呼びかけるものです。

大阪府の公害・環境行政の後退にストップを

大阪府の橋下知事は、「財政構造改革プラン」では大気汚染常時監視や大気・水質調査分析業務などの予算を削減しようとしています。また、大阪府の環境農林水産総合研究所の独立行政法人化や大気汚染、水質汚濁を規制する権限などを市町村に委譲しようとしています。これら環境モニタリングや規制、環境保全業務は公害・環境行政の基本となるものであり、独立行政法人化は大阪府の公害・環境行政の後退に道を開くものとして厳しく批判されなければなりません。

また、「大阪都構想」や「道州制の導入」が盛んに言われていますが、その実態は、「身近なサービスは市町村へ」「府の役割は空港、道路など大型開発・産業基盤整備」というものです。受け皿もなければ金もない市町村への丸投げは府民サービスの切捨てにつながります。そもそも大阪府が大型開発や産業基盤の整備に役割を特化するなどということは、これまでの大企業優先の政治の誤りをより一層すすめるものです。私たちは、大阪府や各自治体に対し、住民の暮らし・福祉の向上を第一に考える行政を強く求めるものです。

大阪から公害をなくし、府民が健康で安心して暮らせる社会、大阪府をみんなの力でつくっていくことを心から呼びかけるものです。

2011年1月29日

第39回公害環境デー府民集会